

## 地域アクションプランの平成24年度上半期の進捗状況等について

■安芸地域	1
■物部川地域	7
■高知市地域	15
■嶺北地域	21
■仁淀川地域	33
■高幡地域	43
■幡多地域	57



# 安芸地域アクションプランの進捗状況等について

H24. 8. 31

安芸地域本部

## 1 地域アクションプランの実施状況（総括）

### (1) 総評

全項目（28項目）について、実行支援チームを編成し、支援及び進捗管理を実施した。

農業分野では、ナスに関しては生産者の勉強会を中心にした取組を行い、ユズに関しては今後の販路の拡大に向けた協議を行っている。

水産業分野では、民間事業者による安芸市でのシラスの加工場建設に向けた具体的な取組が始まった。

商工業分野では、安田町で地域産品の製造販売拠点である「安田（あんだ）と夢ファクトリー『キララ』」がオープンし、その他酒粕を活用した商品開発や販路の拡大に向けた動きが出てきている。

観光分野では、室戸ジオパークに関しては全国大会に向けた実行委員会の立上げ、中芸地区では民間主導の「中芸観光協議会」が立ち上がるなど、広域的な観光振興に向けた動きが始まっている。

### (2) 具体的な動き

#### ① 地域の重点的な動き

重点的な取組	取組状況（結果、成果を含む）・課題と今後の対応
<p><b>二つの日本一を有する産地機能の維持・強化</b></p> <p>■No. 1 ナス産地におけるまとまりづくりとブランド化の推進（室戸市、安芸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、北川村、芸西村）</p> <p>■No. 2 ユズを中心とした中山間振興（室戸市、安芸市、安田町、北川村、馬路村）</p>	<p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域園芸戦略推進会議まとまりづくりチーム会の開催</li> <li>・各地区反省会、現地検討会の開催（3ヶ所80農家参加）</li> <li>・安芸集出荷場での営農相談の実施（3回192農家）</li> <li>・土佐鷹普及推進協議会の開催とJA・園芸連・県で農家を個別に巡回（25園芸年度の作付予想面積は26.8haで前年度比92%）</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐鷹の更なる推進（特に安芸集出荷場管内のまとまりの形成） ⇒地域園芸戦略会議等を通じた系統率の向上</li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新植改植の推進（栽培講習会の開催14回、発芽、開花調査、巡回による生育状況の把握を実施）</li> <li>・将来にわたってユズ園を維持管理する仕組みづくりに向けた連絡会を開催（5回）</li> <li>・販路開拓に向けた協議等を実施（県版HACCP導入への提案、青果輸出、殺菌装置導入）</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユズ果汁の販売強化、青玉出荷率の向上、ユズ商品の販売拡大 ⇒第1四半期と同様な取組を継続</li> </ul>

重点的な取組	取組状況（結果、成果を含む）・課題と今後の対応
<p><b>木質バイオマス活用の促進</b>  <b>■No. 8 木質バイオマス活用の促進（安芸市、芸西村）</b></p>	<p>[取組状況]  ・ペレット原料（原木）のストックヤードの再整備  ・ペレット製造ラインの乾燥装置の改良、加水装置の追加を実施  ・ペレット原料（原木）の安定調達に向けた協議を実施  ・木質ペレットの需給見込み調査を実施</p> <p>[課題と今後の対応]  ・ペレットの供給量の確保に向けた取組  ⇒11月を目標とした生産目標1,000トン達成に向けた設備等の改善  ・需給見込みを基にした木質バイオマスボイラーの新規導入  ⇒補助事業導入に向けた事業計画づくり</p>
<p><b>水産物のブランド化への取組</b>  <b>■No. 10 キンメダイのブランド化に向けた取組（室戸市、東洋町、奈半利町）</b></p> <p><b>■No. 11 水産加工の促進と販路の拡大（室戸市）</b></p> <p><b>■No. 12 加工体制の強化等によるシラスの魚佃等の向上（安芸市）</b></p>	<p>[取組状況]  ・事業計画の協議を実施（県補助金申請）  ・県内外の量販店に対するPR活動を実施  ・冷凍フィレの地元での利用促進に関する協議を実施  ・「ぐるなび」を利用した販促活動の実施</p> <p>[課題と今後の対応]  ・ブランド化、販路の拡大、規格別にターゲットを絞った販促活動の展開  ⇒県外で実施される高知フェアを中心にPR活動を継続  ・冷凍加工品の開発と地元消費の拡大  ⇒ぐるなびで飲食店を対象としたPR活動の継続</p> <p>[取組状況]  ・農工商連携事業について検討、計画が認定されたことにより、商品のパッケージや企画開発に着手  ・スチームコンベクションを導入し、塩麴を使った加熱商品、小売向け商品等の新商品を開発  ・県内外量販店に対する営業活動を実施</p> <p>[課題と今後の対応]  ・大口で安定的な取引先の確保  ⇒既存商品の改善、新商品の開発への取組と営業活動の継続</p> <p>[取組状況]  ・新たなシラス加工施設の整備に向けた協議（～5月）  ・建設用地となる土地造成を開始（6月～8月）  ・シラス加工施設の産振補助金交付決定（7月）  ・加工場施設的设计等に着手（8月～）</p> <p>[課題と今後の対応]  ・加工施設建設に向けた用地確保  ⇒土地造成（土地登記、土地占用許可を含む）の実施（県）  ・加工原魚の確保に向けた取組  ⇒連携事業者である安芸西部機船船曳網連合会との協議を実施  ・商品力、販売力の強化と新たな販路確立  ⇒土佐まるごとアカデミーでの検討と首都圏でのPR活動</p>

重点的な取組	取組状況 (結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>地域の1次産品等を活用した商品づくりと販路拡大</p> <p>■No. 3 ポンカンを活用した新商品の開発と販路の拡大 (東洋町)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・販売戦略の策定を行った (6月)</li> <li>・大阪方面での営業活動 (7月) に向けたチラシの作成</li> <li>・海洋深層水企業との連携による試作品づくりに着手</li> <li>・大阪の業務用酒販に対して営業活動</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・販売戦略に基づいた販路開拓 ⇒ターゲットに対する営業活動の促進</li> <li>・新商品の開発と生産体制の構築 ⇒新商品の検討</li> </ul>
<p>■No. 4 「安田 (あんだ) の白い夢」の販路の拡大と新商品の開発 (安田町)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安田 (あんだ) と夢ファクトリー『キララ』がオープン (6/3) し、店頭販売は概ね順調に推移している (9名雇用うち地元採用7名)</li> <li>・新たな商品開発に着手</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・導入した製造機械での本格生産に向けた大口の販路開拓 ⇒地産外商公社等と連携した首都圏での商談の実施</li> <li>・原材料の安定確保に向けた仕組みづくり ⇒安芸地域全体を視野に入れた原材料の選定と調達方法の検討</li> </ul>
<p>■No. 5 エディブルフラワーを活用した新商品の開発と販路の拡大 (芸西村)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エディブルフラワーを活用した「お花ソルト」を開発、試験販売を実施 (5月)</li> <li>・かっぱ市を含めてんこす、空港など17店舗に納品中 (8月現在)</li> <li>・平成24年度高知県地域産品商談会へ参加</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「お花ソルト」のさらなる販路の確保 ⇒商談会、展示会への積極的な参加による認知度アップ</li> </ul>
<p>■No. 6 白下糖の生産の拡大と新商品の開発 (芸西村)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・白下糖の販売、生産拡大のため検討会を実施 (5月) (製糖組合、芸西村、県)</li> <li>・現生産者に対するアンケート調査実施中 (作付面積、現況、今後の取組について)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産者の増加対策 ⇒生産量を増やすため生産者に対して、実施した生産者に対するアンケートの分析結果を踏まえた生産者等への働きかけ</li> <li>・新商品の開発に向けた検討 ⇒地域内事業者等との連携</li> </ul>
<p>■No. 14 酒粕等を活用した新商品の開発と販路の拡大 (田野町、安田町)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新商品の試作開発中</li> <li>・酒の実ヴィネグレットソースの商標登録 (準備中)</li> <li>・大阪うまいもん市等への出展</li> <li>・県内外への販路先確保に向けて交渉中</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・採算ベースを確保するための売上増加やコスト低減対策 ⇒県内量販店等の取引先の確保に向けた営業活動</li> </ul>

重点的な取組	取組状況（結果、成果を含む）・課題と今後の対応
<p><b>広域的に連携した観光の推進</b></p> <p>■No. 18 安芸地域における広域観光の振興（安芸地域全域）</p> <p>■No. 19 世界ジオパーク認証を活かした観光の振興（室戸市）</p> <p>■No. 21 岩崎弥太郎と地域食材を活用した観光の振興（安芸市）</p> <p>■No. 25 魚梁瀬森林鉄道遺産を活用した交流人口の拡大（奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村）</p>	<p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験メニューの更なる掘り起こしを協議（安芸広域観光担当課長会）</li> <li>・教育旅行の商品づくりを協議（高知東海岸体験観光協議会）</li> <li>・安芸広域エリアキャンペーンの展開</li> <li>・県の観光アドバイザーによる研修会の実施</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦略的な旅行商品の造成、体験メニューの充実 ⇒安芸広域全体での体験メニューの更なる掘り起こしと磨きあげ</li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本ジオパーク室戸大会（11/2～5）に向け実行委員会を設置（おもてなし部会、宿泊・交通部会、教育部会、ジオツアー一部会）</li> <li>・こどもサマースクールの開催</li> <li>・ジオパーク関連施設の整備等に向けて観光補助金を申請</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジオパークに関する更なる情報発信の強化 ⇒世界ネットワーク構築に向けた仕掛け</li> <li>・県東部の観光拠点となる施設等の整備 ⇒基本構想の実現にむけて室戸市との協議</li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安芸釜あげちりめん井楽会によるPR活動の展開（ご当地グルメ屋台村、宇佐大鍋まつりなど）</li> <li>・まちあるきマップの作成（安芸市ボランティアガイドの会）</li> <li>・体験メニューづくり（はばたけ弥太郎安芸市推進委員会）</li> <li>・「てんこす」での安芸フェアの開催（7～8月）</li> <li>・特設展示「弥太郎の生涯と志」の開催（7～2月：安芸市歴史館）</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安芸市の観光振興に向けた推進母体の育成 ⇒安芸市観光協会の機能の見直し</li> <li>・地域食材を活用した新たな「ちりめん井」や加工品の開発 ⇒オンリーワンの「ちりめん井」の創作</li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開通100周年記念事業の内容を検討（県観光補助金交付決定 7/26）</li> <li>・全国せまい線路サミット in 高知（11/4）（事例発表、ディスカッション、森林鉄道乗車等イベント）</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林鉄道遺産の更なる情報発信の強化 ⇒全国の森林鉄道のネットワークづくり</li> </ul>

重点的な取組	取組状況 (結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 28 世界に2つの「モネの庭」の誘客強化による交流人口の拡大 (北川村)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誘客イベントの開催 (無料開放、ガーデン教室、コンサート)</li> <li>・開園時間の前倒し (10時→8:07に変更)</li> <li>・経営改善の検討 (経営コンサルタントに委託)</li> <li>・広報活動の展開 (メディア、高知空港、観光キャラバン)</li> <li>・東部地域エリアキャンペーンに組み込み</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入園者増に向けた誘客対策 ⇒第1四半期の取組の更なるバージョンアップ</li> <li>・営業体制の強化 ⇒北川村観光協会、中芸観光協議会と連携した多様な営業活動</li> </ul>

②上記以外で特記すべき取組

取組	取組状況 (結果、成果等を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 7 土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化 (室戸市、東洋町)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産事業体と生産体制 (原木、生産、販売、雇用、研修生受け入れ等) について協議を実施</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原木の共同購入や共同出荷体制の構築 (室戸市) ⇒関係者での協議の場の設定</li> <li>・研修生の独立に向けた支援 ⇒独立に必要な窯等の経費等に対する支援策の検討</li> </ul>
<p>■No. 20 イルカのふれあい体験による交流人口の拡大 (室戸市)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・営業方針や宣伝PR方法を決定</li> <li>・ドルフィンセンターの機能充実に向けた検討</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・更なる情報発信や施設整備による来場者増 ⇒とろむエリア全体の利活用策の検討</li> </ul>
<p>■No. 24 中芸地区における広域観光の推進 (奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中芸観光協議会の設立 (4/1 事務局職員2名雇用)</li> <li>・事業計画の検討 (中芸観光推進事業) (県観光補助金交付決定7/26)</li> <li>・中芸観光ビジョン策定のための委員会設置 (6/13)</li> <li>・ホームページ作成に着手 (6~8月)</li> <li>・中芸観光スペシャルキャンペーン実行委員会の立上げ (7/31)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民、事業者、行政が協働する観光振興の展開 ⇒地域住民、事業者による観光ビジョンの策定</li> </ul>
<p>■No. 27 安田中山地区の活性化プロジェクト (安田町)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の取り組みについて安田町と県で協議を実施 (5月)</li> <li>・地域団体役員等に県の中山間対策の説明を実施 (5月)</li> <li>・協議の場づくりに向けて各地区の代表者に説明を実施 (6月)</li> <li>・地域団体と具体的な協議開始 (7月)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集落活動センターの運営主体、外部人材の活用 ⇒市町村及び県と地域住民との協議の場の設定</li> </ul>

2 平成24年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況（交付決定又は採択事業）

単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
<p>■No. 12 加工体制の強化等によるシラスの魚価等の向上（安芸市）</p>	<p>・民間事業者がシラス加工業に参入し、安芸産シラスのブランド化と漁業者の所得の向上を図るため、シラス加工施設を整備する。</p>	<p>150,597 (50,000)</p>

3 地域アクションプランの追加、修正、削除（予定）項目

・なし

4 県民参画に向けた取組

○土佐の産業おこし参加プラン募集の案内

- ・中芸地区商工会総会での説明
- ・安芸商工会議所での説明
- ・町村広報紙への掲載に向けた調整  
（掲載：室戸市、安芸市、東洋町、奈半利町、田野町、北川村、芸西村）
- ・安芸ロータリークラブでの紹介

○産業振興計画シンポジウムへの参加案内

- ・地域アクションプラン事業者への案内（四国部品、大野倶楽部、安芸水産、JA土佐あき等）
- ・地域団体への案内（JA土佐あき、JA馬路、安芸商工会議所、中芸地区商工会等）

○商人塾受講への働きかけ

- ・安芸水産：玉沖クラス
- ・JA土佐あき女性部：臼井クラス

5 相談案件

・なし



## 物部川地域アクションプランの進捗状況等について

H 24. 8. 23

物部川地域本部

### 1 地域アクションプランの実施状況（総括）

#### (1) 総評

- ・全 23 項目について、実行支援チームを編成し、支援及び進捗管理を行なっている。
- ・必要な情報共有や積極的な事業進捗に向けた協議など、支援チーム員と関係者が連携して取り組んでおり、全項目において概ね計画どおり進行している。

#### (2) 具体的な動き

##### ①地域の重点的な動き

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p><b>園芸主幹品目の再構築及び強化</b></p> <p>■No. 1 南国市の園芸主幹品目シシトウの再構築（南国市）</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域APチーム会（営農改善会）等を開催し、今年度の取り組みの方向性を共有した（省エネ技術の導入によるコスト削減、腐敗果防止の推進、天敵利用の推進等）。</li> <li>・省エネ加温技術研修（参加農家 20 名）、省エネ機器導入事業説明会（同 10 名）、天敵利用技術先進調査（同 5 名）を実施した。</li> <li>・土着天敵使用について実証ほを設置し調査するとともに先進地視察研修を行った。</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>省エネ技術導入に向けた取り組み</p> <p style="padding-left: 20px;">⇒補助事業の活用による導入促進や、既存ボイラーを活用した改良型省エネ技術の効果を検討する。</p> <p>土着天敵の導入</p> <p style="padding-left: 20px;">⇒低コストで防除効果があったが、作物への被害と密度の係が不明確で、今後も調査が必要である。</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 2 エメラルドメロンの販売力向上対策 (香南市)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パートナー量販店と市場担当者を招へいし、情報交換を行った。</li> <li>・MB代替薬剤の試験ほを設置(1ヵ所)した。</li> <li>・大玉果軽減のため高温期草勢の目慣らし、温度・灌水管理の徹底を現地検討会で指導した。</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>消費者の認知度向上</p> <p>⇒カット販売を行うなどの、消費者が購入しやすい商品形態について役員会で検討する。</p> <p>MB剤全廃(2013年)後の代替技術の確立</p> <p>⇒代替薬剤としてのヨーカヒュームの有効性を検証していく。</p>
<p>■No. 3 ニラの産地力強化「日本一のニラ産地の維持・拡大へ向けた仕組みづくり」(香南市・香美市)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏ニラ産地物部町の育苗についてニラ部会の大規模農家に委託斡旋を行い、物部町ニラ栽培者(2戸、15a分)の苗の受け渡しを行うことができた。</li> <li>・防虫ネット+タイバックシート被覆によるアザミウマ防除の実証ほを設置(1ヵ所)し、調査中である。</li> <li>・鮮度保持対策の目慣らし会を実施した(11回)。</li> <li>・異物混入対策の品目別チェックリストによる点検を実施した(点検農家戸110戸)。</li> <li>・大阪市場卸売会社、岡山丸果、名古屋青果との出荷、販売について情報交換を行った。</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>周年安定生産、出荷量の拡大</p> <p>⇒育苗に関する作業受委託について、担当者会等で検討していく。高温対策技術の実証ほを設置し、7月から調査を行っている。</p> <p>異物混入や高温期における腐敗事故の防止</p> <p>⇒鮮度保持対策や異物混入対策として巡回指導時に調整作業場の点検も指導する。</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p><b>ユズの総合的な産地強化</b></p> <p>■No. 11 生産から販売までのユズの総合的な産地強化対策(香美市)</p>	<p>[取組状況]</p> <p>・ユズ産地協議会を開催し(3回、参加者39名)、小袋を利用した新たな販路の開拓についての検討や、販売戦略を立てるための樹齢や改植等に関する生産者アンケートを実施している。</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>「ゆずもり」の再構築</p> <p>⇒ユズ産地協議会で、作業料金や組織構成等の見直しを行っていく。</p> <p>新たな販路の拡大</p> <p>⇒ユズ産地協議会で、生産量の変動にも対応可能な販売戦略を検討していく。</p>
<p><b>地産地消・食育の推進</b></p> <p>■No. 4 地産地消・食育の推進(南国市)</p>	<p>[取組状況]</p> <p>・学校給食用食材配送システムは、道の駅南国から今年度発足した「株式会社南国スタイル」(JA南国市出資農業生産法人)に継承されたが、市、市教委、南国スタイルの調整が不十分だったため、業務のスタートが6月になった。</p> <p>・農家レストランまほろば畑については、高い集客力を維持している(4/3~7/31の来店者数 平均181人)。</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>学校給食用食材配送業務に関する調整が不十分</p> <p>⇒今後は関係機関と調整しながら、地産地消の推進に向けて取り組んでいく。</p> <p>農家レストランの集客維持に向けた努力の継続</p> <p>⇒新しい統一メニューを作成するなど、運営を担当する5グループが協力しながら、農家レストランの魅力の磨きあげを行なっていく。また、専門家の指導を受けて、厨房作業の改善点を洗い出し、業務改善に向けた取り組みを実践していく。</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 5 直販所「あけぼの市」の機能強化による農家の所得向上及び交流人口の拡大(南国市)</p> <p>■No. 6 地域農産物を活用した直販所「ひかり市」の施設拡充(南国市)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・25年度以降に産振補助金を活用して事業を実施する予定であり、県、市、JA長岡による打ち合わせ会を開催して関係者間の意思統一を図った。</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>事業計画の十分な精査</p> <p>⇒打ち合わせ会を重ねるなどして、事業計画を精査していく。</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度に産振補助金を活用して事業を実施することとしており、県、市、JA十市による打ち合わせを重ね、事業採択申請書を提出し、7/23に補助金審査会の審査を受けた。</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>採択後に向けた支援</p> <p>⇒補助金審査会の審査を受けて、所用の準備を行う。</p>
<p>豊富な地域資源を活用した1.5次産業化の推進</p> <p>■No. 7 地域の特産品づくり～農産物加工への取組～(南国市)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たに特産品が開発され、販売が開始された。</li> <li>・南国市において、地域特産品商品開発事業を行うための補助金交付要綱の改定作業等、特産品づくり誘導支援策の実施準備を行った。</li> <li>・7月に市の補助金交付要綱が制定(3/4補助、上限30万円)され、特産品づくりのプレーヤーとして期待される事業者等へ周知、勧誘を行っている。</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>特産品づくりのプレーヤーの育成</p> <p>⇒今後、支援チームの結成等、特産品づくりのプレーヤーを育てる体制を構築し、育成を進めていく。</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 8 「ごめんケンカシャモ」のブランド化の取組(南国市)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シャモ肉取り扱い飲食店を新規開拓して、シャモ鍋社中(南国市内の取扱店)2店舗、南国市外4店舗、卸業者1社が新たに加わり、取引先は合計22となった。</li> <li>・シャモ鍋以外の、季節を問わないメニュー(シャモとジローの親子丼)を開発し、土佐の食1グランプリに出店して3位に入賞した。PR効果によるシャモ料理の知名度が向上し、取引先も7件増となり、4月から7月末の間に前年同期比で195%となる640kgのシャモ肉を売り上げた。</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>シャモの安定的な生育体制の整備 ⇒関係機関と協議調整中</p>
<p>■No. 12 香美市ブランドの確立・特産品づくり(香美市)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐の食1グランプリにシカドッグで出店し、4位に入賞するとともに800個を売り上げた。</li> <li>・ゆず加工品の開発等を行なっている「奥ものべ・じじばあんぜん会」と、ステップアップ補助金活用に向けての打ち合わせを行った。</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>香美市観光協会の円滑な活動の支援 ⇒今年度から行政から独立し、法人化した一般社団法人香美市観光協会が香美市ブランドの確立に向けて業務を遂行できるよう、連携及び調整を図り、必要な支援を行う。</p>
<p>■No. 15 シイラ等の加工商材活用(香南市)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存取引先と定期的に情報交換を行い(2回/週)、販売先を確保している。</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>新たな販売先の開拓 ⇒既存取引先との情報交換や新規開拓により、新たな販売先の確保を行っていく。</p> <p>衛生管理の維持 ⇒自主マニュアルに基づき点検等を行っていく。</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p><b>地域に育つ県産材の有効活用</b></p> <p>■No. 13 民有林における素材の増産(物部川地域全域)</p> <p>■No. 14 木質バイオマスの活用に向けての取組(物部川地域全域)</p>	<p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・香南市「舞川・撫川地区森の工場」(平成24年度計画予定地)の地元説明会を開催(森林所有者25名参加)し、作業道開設、間伐の実施に向けて、境界確認調査(土地所有者の立会確認)に着手した。</li> <li>・香美市猪野々地区(平成21年度森の工場設定済)で森林経営計画制度及び森林管理・環境保全直接支払制度について地元説明会を開催(地元代表者11名参加)し、今年度の事業実施に向けて実施計画の策定作業を行っている。</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <p>森林経営計画における事業量と認定事業体の作業実行能力の整合</p> <p>⇒既存の森の工場から、試行的に1団地を抽出して計画を作成し、労働力の確保や機械装備など課題を洗い出したうえで、順次他の団地の計画に着手していく。</p> <p>昨今の木材価格低迷による、各事業体の素材増産意欲の低下</p> <p>⇒素材生産に関する今後の対応策について検討していく。</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペレット利用量、チップ利用量、CO2削減量の検証を行った。</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <p>重油価格や天候に伴うペレット等利用量の変動</p> <p>⇒ペレット等利用量やCO2削減量について継続して検証していく。</p>
<p><b>歴史と伝統ある地場産業の振興</b></p> <p>■No. 19 地場産業(土佐打刃物、フラフ)の振興(香美市)</p>	<p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光協会通販サイトでの土佐打刃物製品の商品構成の充実を図るべく、土佐打刃物業者に声掛けを開始した。</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <p>土佐打刃物後継者育成</p> <p>⇒土佐打刃物後継者育成対応策検討会において、関係機関が引き続き協議を行なっていく。</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p><b>体験型観光商品の充実及び広域観光の取組の推進</b></p> <p>■No. 20 観光事業から観光産業へ～観光産業の振興～(南国市)</p>	<p>[取組状況]</p> <p>・今年度から南国市観光協会として行政から独立し、専任スタッフが配置され、企画力、機動力の向上が図られている。岡豊山さくらまつり(土佐の食1グランプリ)や長宗我部フェスの開催等、概ね計画どおり進捗している。</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>南国市観光協会の会員増の取組</p> <p>⇒南国市が観光に向けて力を結集するために、観光協会の会員増に向けて、入会のメリット等も検討し、取り組んでいく。</p>
<p>■No. 21 体験観光等の旅行商品化と販売の推進・地域の観光情報の発信(香南市)</p>	<p>[取組状況]</p> <p>・土佐塩の道 30km ウォークの企画・募集を行い 60 名の参加があった。</p> <p>・土佐塩の道でのトレイルランの試走を企画し、7 名が参加した。</p> <p>・「香南市地旅ガイド」や観光パンフレット等を配布し、体験観光や絵金生誕 200 周年記念行事など香南市の観光 PR を行った。</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>トレイルラン大会の企画</p> <p>⇒試走参加者のコースに対する評価が概ね好評であったことから、地域と連携した運営方法等について検討していく。</p>
<p>■No. 22 「森の駅」を中心とした体験型観光の推進(香美市)</p>	<p>[取組状況]</p> <p>・一般社団法人香美市観光協会が中心となり、募集ツアーを定期的に開催し集客数を増やすとともに、指定管理者となったべふ峡温泉で体験プログラムの商品化を行うなど、香美市の観光の推進に貢献している。</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>べふ峡温泉が企画する登山体験ガイドの養成</p> <p>⇒べふ峡温泉従業員や観光協会職員を OJT でガイドとして養成していく。</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 23 広域観光の取組の推進(物部川地域全域)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物部川地域観光振興協議会を開催(3回)し、本年度事業及び予算を決定、高知県観光拠点等整備事業費補助金の交付申請書の作成等を行った。</li> <li>・とさ旅セミナー準備会及びエリアキャンペーン実行委員会に出席し、エリアキャンペーンの企画を行っている。</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>プロモーションツールの作成と活用 ⇒エージェントを対象として、体験観光等パンフレットを作成し、誘致活動を行っていく。</p>

②上記以外で特記すべき取組  
特になし

2 平成24年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況(交付決定又は採択事業)  
単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
該当なし		

3 地域アクションプランの追加、修正、削除(予定)項目  
該当なし

4 県民参画に向けた取組

- ・JA土佐香美総会で第2期産業振興計画について説明(4/23)
- ・南国市・香南市の広報紙6月号に土佐の産業おこし参加プラン募集記事掲載
- ・南国(5/18)・香南(5/29)・香美(5/23)の各市商工会総会で土佐の産業おこし参加プラン、産業振興計画シンポジウム、土佐MBAのPR

5 相談案件：1件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	6/6	食品加工	南国市内で菓子製造の事業規模を拡大したい。



## 高知市地域アクションプランの進捗状況等について

H24.7.31

高知市地域本部

### 1 地域アクションプランの実施状況（総括）

#### (1) 総評

全 30 項目の地域アクションプランのうち、第 1 期計画から継続して取り組んでいる農業分野を中心に、概ね順調に推移している。また、新たにアクションプランに加わった 2 件の食品加工の取組については、今後の本格的な動きに向け、関係者との協議が進んでいる。

#### (2) 具体的な動き

##### ① 地域の重点的な動き

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p><b>地域の特色を活かした多様な農業の展開</b></p> <p>■No. 1 キュウリの生産販売対策の強化による産地振興</p> <p>■No. 2 グロリオサの生産販売対策の強化による産地振興</p> <p>■No. 3 生産と販売促進対策の強化による消費地に選ばれるユリ産地の振興</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防除対策、新品種の検討等の実施</li> <li>・新規参入受入システムの検討(=遊休ハウス情報のリスト化の検討)</li> <li>・自動選果ラインの工事着工</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>産地の維持拡大 ⇒自動選果ラインの高度化、遊休ハウス情報のリスト化</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・品質の安定対策(防除対策等)の実施</li> <li>・希少品種保有者の把握と栽培状況の確認</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>単価の維持、UP ⇒希少品種の出荷数の安定化とPR</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・品質向上対策(目慣らし会等)の実施</li> <li>・販促活動に関する支援</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>産地の維持拡大 ⇒希少品種の認知度向上、販促活動の強化</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 4 イチゴの生産販売対策の強化による産地振興</p> <p>■No. 5 ナシ産地の振興とブランド強化</p> <p>■No. 6 時代のニーズに対応できる早期米産地の振興</p> <p>■No. 7 新ショウガの生産振興</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・品質の安定対策(防除対策等)の実施</li> <li>・量販店と連携した「朝採れ」イチゴの販売</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>産地の維持拡大 ⇒介良ブランドをPRする流通・販売対策</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産振アドバイザーの活用(用途、販路のコーディネート、ブランド認知等の助言)</li> <li>・まるはり商標登録申請</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>産地ブランドの向上、鳥獣害対策 ⇒ナシ定植100周年記念事業の実施、共同出荷体制の整備、近隣地域を含めた鳥獣害対策の実施</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高収量対策(実証ほの設置、講習会等)の実施</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>品質の向上 ⇒色彩選別機の導入、乾燥調整施設の機能強化等による品質向上対策の検討</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・品質向上対策(目慣らし会、防除対策等)の実施</li> <li>・泡洗浄機の試験導入及び水源対策の検討</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>洗浄用の水対策 ⇒泡洗浄機の試験の継続と循環式の水利用による節水</p>
<p>中山間地域の振興</p> <p>■No. 8 ユズを核とした中山間農業の活性化</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・優良母樹の確保対策等の実施</li> <li>・青果・貯蔵・加工用途果実の生産技術の向上</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>生産の安定と高品質化 ⇒担い手の育成と生産技術の向上</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 9 四方竹のブランド化による中山間地域の振興</p> <p>■No. 10 「まるごと有機プロジェクトの推進」による中山間地域の振興</p> <p>■No. 12 直販店を核とした鏡地域の活性化</p> <p>■No. 15 森の工場を核とする素材生産量の拡大</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産安定対策（アンケート調査）の実施</li> <li>・冷水機導入に向けた検討</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>四方竹のブランド化 ⇒中長期貯蔵試験、品質検査の継続実施と販路開拓</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・柚子酢、ジンジャーエール等加工品の製造・販売</li> <li>・加工品販売額（4～6月）：1,762千円</li> <li>・一般財団法人に向け法人の組織体制の見直しと機能強化</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>公社及び農家の所得の向上 ⇒新たな加工品の開発と新加工場の整備</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・需給改善品目の動向調査</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>消費者ニーズに応じた生産、販売 ⇒計画生産による需給ギャップの解消</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・間伐実績：約4ha</li> <li>・森の工場事業実施計画書の策定</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>森の工場の拡大 ⇒不在地主の関係者との調整、地元説明会の開催</p>
<p>一次産品（地域資源）を活用した6次産業化の推進</p> <p>■No. 17 春野地区の農産物（トマト等）の付加価値向上</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジンジャーエールの新商品販売</li> <li>・百貨店へのギフト販売出展、お中元ギフト販売</li> <li>・加工品販売額（4～7月）：11,810千円</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>原材料の安定生産と販路の確保 ⇒栽培面での継続的な技術支援、見本市、商談会への参加と取引先との関係強化</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 13 「食」の提供による地域農産物の消費拡大</p> <p>■No. 14 生乳加工品の製造・販売による新しい酪農経営モデルの創出</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作業体験研修の実施：2名雇用</li> <li>・新規メニューの開発に向けた検討</li> <li>・産振アドバイザーの活用(惣菜、弁当メニュー開発の助言)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>消費者ニーズに応じた事業計画の策定 ⇒消費者交流事業の実施、新規メニューの開発及び増産計画の策定、運営体制の確立</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新商品の開発、製造、販売</li> <li>・店舗での販売額(4~7月)：4,392千円(対前年8%増)</li> <li>・オープンファーム、酪農教育ファームの実施による店舗の認知度の向上</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>新規顧客の開拓とリピーターの確保 ⇒イベントの継続的な実施、店舗外での販促活動の充実</p>
<p>新分野への挑戦</p> <p>■No. 19 竹バイオマスを活用した新しい産業の創出</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・竹製ハンドルの増産に伴うラミナ製造の増</li> <li>・新規雇用：10人</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>竹材の確保 ⇒他の地域本部等と連携した竹林の確保</p>
<p>中心市街地の活性化</p> <p>■No. 21 中心商店街でのアンテナショップの運営</p> <p>■No. 22 多彩なイベントや演出等によるおまちのにぎわいづくり</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力ある県産品の掘り起こし →登録アイテム3,330以上、約1,600点を陳列、販売</li> <li>・3年目の販売実績は目標350千円に対し321千円(91%)</li> <li>・内装リニューアル、飲食運営形態・提供メニューの見直し</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>店舗としての魅力度アップ ⇒飲食メニュー、店舗機能の充実、強化</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・100円商店街等のイベントの実施</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>集客力の向上 ⇒効果的なイベントの実施</p>

重点的な取組	取組状況 (結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p><b>魅力ある観光戦略の展開</b></p> <p>■No. 26 本家よさこいのブランド力確立とよさこい文化の継承・発展</p> <p>■No. 29 土佐の偉人を活かした観光の振興</p> <p>■No. 25 近隣地域等との連携による滞在型・体験型観光の推進</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共用地方車用音響設備を活用したまちなかよさこいの実施</li> <li>・よさこい情報発信拠点の整備に向けた検討</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>よさこい文化の継承・発展 ⇒60周年に向けた情報発信拠点の整備</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐っ歩に新たに2コース追加 (土佐っ歩の実績4~7月:375人、対前年36%減)</li> <li>・第1回長宗我部まつり開催(5/20):約4,000人集客</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>更なる集客力の向上 ⇒偉人関連イベントの充実強化</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・城西館による着地型観光ツアーの実施</li> <li>・定住自立圏構想への引継に向けた関係4市の協議</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>定住自立圏構想への着実な引継 ⇒物部川広域観光との連携強化</p>

②上記以外で特記すべき取組

取組	取組状況 (結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 28 浦戸湾を活用した観光の振興</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大型船(ゆうがお)を活用した観光遊覧船事業の実施(7月から休止)</li> <li>・乗船客数実績(4~7月):3,991人(対前年比25%増)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>乗船客数の増加と安全対策 ⇒組織体制の強化、新たな企画商品づくりとPR</p>

2 平成 24 年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況（交付決定又は採択事業）

単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
該当なし		

3 地域アクションプランの追加、修正、削除（予定）項目

該当なし

4 県民参画に向けた取組

- ・企業訪問時に土佐の産業おこし参加プラン、産業振興計画シンポジウムのPR
- ・地域団体（春野地域ほか）の行事の際に産業振興計画のPR
- ・工業会、発明協会へ産業振興計画シンポジウム、土佐MBAのPR
- ・高知市主催のイベントで、産業振興計画シンポジウム、土佐MBAのチラシの配布を依頼

5 相談案件：4件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/17	観光	高知市内で、漫画好きの若い女性を対象とする集客施設に対する支援について
2	5/16	食品加工	高知市内で、地域の農産物を使った焼き菓子を県外に販売していくための支援について
3	5/28	農業	NPO法人の農業分野への進出について
4	7/26	工業	竹材の加工の際に出るおがくずの処分について

## 嶺北地域アクションプランの進捗状況等について

H24.8.21  
嶺北地域本部

### 1 地域アクションプランの実施状況（総括）

#### (1) 総評

嶺北地域の27項目の全てのアクションプランについて、事業主体や関係町村が取り組んできた中で、概ね計画に沿って事業が順調に進捗しつつある。

こうした中、嶺北地域では、事業の中核となるプレイヤーが複数の取組を行っている現状があり、今後の発展のためには、農業・畜産・林業などの各分野で新しい担い手やリーダーの人材育成が急務となっている。

そのため、各分野ごとの担い手育成の取組に加えて、4町村が連携した観光・交流人口の拡大や移住促進の取組の中で、U・Iターンによる地域外からの担い手確保の取り組みにも力を入れている。一方で、地域内の人材育成として、嶺北高校と連携して将来の担い手育成にも取り組んでいる。

また、嶺北地域アクションプランの取組事業者の中には、事業が開始して間もないことなどから経営基盤が脆弱な事業者もあり、経営計画や経営改善計画の樹立支援と計画の実行支援を行っている。

#### (2) 具体的な動き

##### ①地域の重点的な動き

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>“れいほく”ブランドの園芸産地の確立及びユズ加工品の販売促進</p> <p>■No.1 れいほくブランドの園芸産地の維持 (嶺北地域全域)</p>	<p>[取組状況]</p> <p>(担い手育成)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関への協力要請(3回)</li> <li>・生産者への遊休農地・空き家アンケート(1回)</li> <li>・嶺北地域移住促進連絡会との情報共有(3回)</li> </ul> <p>(れいほく八菜)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JA各生産部会の現地検討会(14回)</li> <li>・天敵の推進講習会(2回)、天敵リレー(3回)</li> <li>・栽培管理指導(土壌溶液分析)(7回)</li> <li>・販売促進企画会議(5回) ・店頭での販促活動(2回)</li> <li>・コープかがわ職員研修(2回) ・出前授業(1回)</li> <li>・大阪市場及び量販店での販促活動</li> <li>・青果物販売取引検討会(1回)</li> <li>・県内仲卸店でのれいほくコーナーの設置</li> </ul> <p>(れいほく八花)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栽培管理巡回指導(4回) ・研修会(1回)</li> <li>・ノーブル由来の新系統の特性調査(1回)</li> </ul>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 2 ユズ産地の確立と加工・販売の促進 (本山町、大豊町、土佐町)</p>	<p>(直販)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現地巡回指導(2回)</li> <li>・栽培指導講習会(3回)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>(担い手育成)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な担い手確保 ⇒嶺北地域移住促進連絡会と連携した取組 (農地・空き家情報の収集等) 公益法人・集落営農組織・町村等が一体となった取組の推進</li> </ul> <p>(れいほく八菜)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹品目(米ナス、シシトウ、三色ピーマン)の栽培確立 ⇒基幹品目への集約と生産技術の向上 病虫害対策の向上</li> <li>・販売促進活動などによる販売拡充 ⇒販売拠点(コープかがわ)の充実と消費宣伝 県内市場及び大阪市場の販売強化</li> </ul> <p>(れいほく八花)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病虫害の早期発見</li> <li>・ノーブルの高品質・安定生産技術の確立 ⇒ノーブルの球根供給システムの確立と生産技術向上の体制づくり</li> </ul> <p>(直販)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・直販生産者の生産量の増 ⇒栽培品目の提案及び栽培管理指導による出荷量の増及び品質向上</li> </ul> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外での販促活動(2回)</li> <li>・生態(着花状況等)調査(2回)</li> <li>・個別巡回指導(1回)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青果用及び、果皮利用可能な果実の生産量向上</li> <li>・ユズ加工品の販売力強化 ⇒国内外への販促活動の強化 競争力を付けるための酵素失活・無菌充填施設の整備を関係町村等と検討</li> </ul>



重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p><b>J A 出資型法人を核とする地域活性化の取組</b></p> <p>■No. 6 J A 出資型法人を核とする地域活性化の取組 (嶺北地域全域)</p>	<p>[取組状況]</p> <p>(農業経営事業、米関連事業、農作業受託事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・育苗実績：野菜・花 (5 万鉢)、水稻 (14.4 万枚)</li> <li>・作付実績：園芸作物 (0.4ha)、新規需要米 (2ha)</li> <li>・受託実績：水稻関連 (4.9ha)、ハウス関連 (0.2ha)</li> </ul> <p>(米粉事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農商工連携基金事業の採択 (事業費：4,967 千円)</li> <li>・商談会への参加 (1 回)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業体 (JA 出資型法人) の経営の安定化 ⇒中期経営事業計画 (5 ヶ年) の実践支援</li> <li>・農業経営事業、米関連事業、農作業受託事業を展開するための機器整備 ⇒活用する補助金の検討支援</li> <li>・米粉・米粉加工品の販売拡大 ⇒農商工連携基金事業の効果的な活用 (新商品開発、販売促進活動への実践支援)</li> </ul>
<p><b>肉用牛産業の再興及び土佐はちきん地鶏の振興による畜産業の展開</b></p> <p>■No. 8 土佐あかうしの競争力の確保による肉用牛産業の再興 (本山町、土佐町、大豊町)</p> <p>■No. 9 土佐はちきん地鶏・大川黒牛を活用した畜産業の活性化 (大川村)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国庫事業 (強い農業づくり交付金) の内示 (計画事業費：7.5 千万円×3 ヶ年)、産業振興総合補助金の特別承認事業の採択申請</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営体制 (飼育体制等)、資金計画の検討 ⇒事業執行体制 (人員) の充実 (緊急雇用を活用) 必要に応じた産業振興アドバイザーの導入 関係者 ((株) れいほく未来、J A 土佐れいほく、土佐町、県) による事業内容の協議</li> </ul> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係者協議の実施 (大川村、(株) むらびと本舗、県)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経営・財務基盤の脆弱性 ⇒中期経営改善計画の樹立支援</li> </ul>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>関係機関による経営改善策等の継続協議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員の飼養技術の向上</li> </ul> <p>⇒ 職員の飼養技術の向上支援(現場研修等)</p>
<p><b>嶺北材の増産及び販路拡大</b></p> <p>■No. 10 間伐の推進と素材生産の拡大 (嶺北地域全域)</p> <p>■No. 11 れいほくスケルトン(嶺北材の邸別販売)の促進(嶺北地域全域)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各事業体と個別勉強会の実施(9事業体)</li> <li>・ 原木市場(とさ本山共販所)の再開(4月23日)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原木増産体制の整備</li> </ul> <p>⇒ 搬出間伐の補助を受けるための計画作成支援 再造林補助金の充実による皆伐の推進</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「れいほくスケルトン」の基準作りに向けた工務店・製材所等の打ち合わせ会(2回)</li> <li>・ パートナー工務店との意見交換会(1回)</li> <li>・ 受注:1邸</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 早期の「れいほくスケルトン」の基準作り</li> </ul> <p>⇒ 土佐町と次期展開の検討・協議の実施</p>
<p><b>大型製材工場の設置</b></p> <p>■No. 15 大型製材工場の設置による地域材の利用の促進(嶺北地域全域)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大型製材工場の施設整備の着手</li> <li>・ 原木生産増大に向けた森林施業協議(大豊町、森林組合)</li> <li>・ 再造林に対する大豊町の補助金交付要綱制定(6月1日)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原木供給体制の整備</li> </ul> <p>⇒ 関係機関と連携し、原木市場を中心とした供給体制の整備検討</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p><b>地産外商の促進</b></p> <p>■No. 18 土佐産直サテライトセンター(とさ千里(大阪))の活性化による地産外商の促進(嶺北地域全域)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・販促イベント(5回)</li> <li>・大阪事務所での木曜日(毎週実施)</li> <li>・産業振興アドバイザーの導入(米粉パン製造)</li> <li>・経営改善検証会議(毎月実施)</li> <li>・地域産品商談会(高知市)への参加(新商品の発掘)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経営・財務基盤の脆弱性 ⇒経営改善計画の実行支援 (経営改善検証会議で事業等の分析・検証)</li> <li>・野菜供給体制の構築 ⇒嶺北地域の野菜の出荷体制の整備(土佐町が支援制度を創設済み)及び実行支援</li> <li>・顧客の回復及び新規顧客の開拓 ⇒催事の開催によるPR (JA土佐れいほく、土佐町により月2回程度実施中) 大阪事務所による支援 (木曜日開催、在阪の県人会など各種団体へのPR) まるごと高知、てんこすの売れ筋商品情報などの提供</li> </ul>
<p><b>嶺北地域の連携による交流人口の拡大</b></p> <p>■No. 19 嶺北地域の連携による交流人口の拡大(嶺北地域全域)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・嶺北地域の旅行商品化の動き 催行済み(1社)、募集中(4社)、 催行に向け協議中(1社) 大学ゼミ旅行(1校催行決定、2校と協議中)</li> <li>・嶺北地域観光・交流推進協議会に事務職員を雇用(緊急雇用の活用:1名)し活動を強化</li> <li>・観光人材育成塾「とさ旅セミナー」がスタート</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広域観光のコーディネート組織の早期の見出し</li> <li>・次年度以降の協議会の事務局体制の検討 ⇒嶺北地域観光・交流推進協議会での検討</li> </ul>

②上記以外で特記すべき取組

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 4 米のブランド化による稲作農業の展開</p>	<p>[取組状況]</p> <p>(ブランド米)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作付面積：30.8ha、37戸</li> <li>・ 栽培管理指導（5回）</li> <li>・ 写真コンテスト、田んぼアートの実施</li> </ul> <p>(加工品（米焼酎））</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 産業振興総合補助金の採択申請</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>(ブランド米)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生産者価格の向上 ⇒直接販売増の取組の実施</li> </ul> <p>(加工品（米焼酎））</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安定的な生産体制の確立 ⇒実績のある杜氏や工業技術センター等からの生産指導による醸造技術の確立</li> <li>・ 販路の確保 ⇒町内販売及び事業者等の人的ネットワークを活用した町外・県外への販促活動</li> </ul>
<p>■No. 5 (株) 大豊ゆとりファームを核として地域資源の活用により地域産業を持続化させる取組（大豊町）</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 碁石茶の販促活動（高知市内量販店、まるごと高知等）</li> <li>・ 中期経営改善計画の取組状況確認</li> <li>・ クールベジタブルの販促活動</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 過年度産の碁石茶が在庫の状況 ⇒中期経営改善計画の実行支援 関係者と碁石茶戦略の再検討</li> </ul>
<p>■No. 7 直販所「本山さくら市」を核とした地域活性化の取組（本山町）</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 夏野菜栽培講習会（2回）</li> <li>・ 先進地視察研修（1回）</li> <li>・ 講演会（1回）</li> <li>・ 産業振興総合補助金（ステップアップ事業）の採択</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出荷者・出荷量の増、地域外からの誘客 ⇒産業振興総合補助金（ステップアップ事業）の活用 栽培講習会等の継続実施</li> </ul>

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 24 滞在型市民農園の推進による地域の活性化(本山町)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アクセス道の整備(町単)</li> <li>・施設整備に係る国事業(社会資本整備総合交付金:内示済み)、県事業(移住促進事業)の交付決定(8月1日)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開設に向けた情報発信・PR活動(ソフト対策) ⇒本山町市民農園整備促進協議会による取組</li> </ul>
<p>■No. 25 嶺北地域の連携による移住促進の取組(嶺北地域全域)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移住促進連絡会議の開催(ほぼ、毎月開催)</li> <li>・れいほく田舎暮らしネットワーク(1名)、4町村(各1名)に臨時職員を雇用(緊急雇用の活用)し、連携して取組(空き家調査、仕事調査、情報発信)</li> <li>・高知県U・Iターン就職相談会への参加(3回)</li> <li>・地域内企業等への移住に関する求人枠の協力要請</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度以降の取組体制 ⇒町村、れいほく田舎暮らしネットワーク、県により協議</li> </ul>
<p>■No. 27 地域内高校と連携した将来の担い手育成に関する取組(嶺北地域全域)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・米粉等を利用した新商品の開発及び販路開拓 こうち農商工連携基金事業を活用し、(株)れいほく未来・(株)とき千里・嶺北高校による6次産業化の取組を展開中 (れいほく未来と嶺北高校の新商品開発委託契約の締結(8月15日))</li> <li>・観光・交流の取組嶺北地域観光・交流推進協議会の構成員に嶺北高校が参加</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生が主体的に動き出すキッカケづくり ⇒アドバイザーの活用、県内大学との連携 高校生を主体とした模擬会社化の体制づくり</li> </ul>

2 平成 24 年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況（交付決定又は採択事業）

単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
<p>■No. 7 本山さくら市活性化事業（本山町） ※ステップアップ事業 (H24. 7. 11 交付決定)</p>	<p>本山さくら市の活性化に向けた集客増等に向けた取り組み (講演会・研修会、チラシ配布、パンフレット作成等)</p>	<p>776 (387)</p>
<p>■No. 4 “土佐天空の郷” 焼酎の醸造・販売事業（本山町） (H24. 8. 22 審査会)</p>	<p>‘土佐天空の郷’を選別する過程で生じた中米を原料とした米焼酎の醸造・販売の取り組み (醸造所、醸造設備の整備)</p>	<p>12, 637 (6, 017)</p>
<p>■No. 8 土佐あかうしの未来を担う産地づくり事業（土佐町） (H24. 8. 22 審査会；特別承認事業)</p>	<p>土佐あかうしの生産基地整備による生産体制の強化に向けた取り組み (繁殖畜舎、肥育畜舎、管理棟等の整備)</p>	<p>176, 250 (12, 500)</p>

3 地域アクションプランの追加、修正、削除（予定）項目

[追加]

集落活動センター「汗見川」が実施する交流人口拡大事業と特産品づくりによる地域活性化の取組（本山町）

<概要>

集落活動センター「汗見川」（平成 24 年 6 月 17 日設立）が、汗見川や清流館等を活用した交流人口拡大事業や地域産品の加工・販売事業に取り組み、地域の活性化を目指す。

[修正]

NO. 16 木質バイオマス利用拡大の取組（嶺北地域全域）

（内容）事業の進捗に合わせて、平成 25、26 年度の施設整備、平成 27 年度からの施設稼働とするための線表の修正

[削除]

該当無し

#### 4 県民参画に向けた取組

##### (1) 各種会議での説明・PR

実施日	会議等の名称	説明・PR等の内容
2月14日	本山政経懇話会	第2期計画
3月26日	JA土佐れいほく理事会	〃
4月20日	土佐町部落長会	〃
5月1日	大豊町区長会	〃
5月22日	本山町商工会総会	第2期計画、土佐の産業おこし参加プラン、産業振興計画シンポジウム
5月24日	土佐地区商工会総会	〃
5月29日	大豊町商工会総会	〃
6月29日	農業改良普及 推進会議	第2期計画

##### (2) その他

###### 1) 町村広報誌でのPR

・土佐の産業おこし参加プランのPR…本山町（6月号）、大豊町（6月号）

###### 2) 文書でのPR

・産業振興計画シンポジウムの案内…3 地区商工会、4 町村森林組合、4 町村  
フォローアップ会議委員、JA

###### 3) 学校でのPR

・第2期計画の説明…土佐町中学校（4月27日）  
嶺北高校（5月15日）

#### 5 相談案件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	H24.7.17	農産品加工	地域の農産品（ぜんまい、葉草等）の集出荷・加工施設を整備したい。 （整備は、年度以降の予定）

追加項目(案)

【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21～23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
集落活動センター「汗見川」が実施する交流人口拡大事業と特産品づくりによる地域活性化の取組 《本山町》	汗見川や清流館等を活用した交流人口拡大事業やシソや蕎麦等を活用した特産品づくりにより、地域の活性化を目指す。	・汗見川活性化推進委員会 ・本山町			◆交流人口拡大事業 ◆特産品づくり



第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
→					清流館宿泊者数	1800人
交流人口拡大事業						
既存事業の磨き上げ						
夏以外の交流人口拡大事業の開発						
インストラクター等の担い手の確保						
施設整備や機器の導入など、活動拠点(清流館等)の魅力の向上						
交流人口拡大事業のPR活動						
→						
特産品づくり						
既存商品の磨き上げ						
新たな特産品づくり						
販売体制の確立						
施設整備や機器の導入など、加工体制の強化						
特産品のPR活動						

有望素材シート (24年度) (案)

『地域アクションプラン』検討過程での有望素材の洗い出し

市町村名	本山市	素材名	汗見川、清流館
		関連素材	

現状・課題	<p>&lt;現状&gt; 本山市の北部に流れる「汗見川」沿いには立野、坂本、屋所、沢ヶ内、瓜生野、七戸の6つの集落があります。その集落では、住民が主体となって「汗見川活性化推進委員会」を平成11年に立ち上げ、河川清掃や景観保全などの「汗見川」を美しく維持するための取り組みや廃校を活用した宿泊施設「清流館」を拠点にした交流人口拡大事業、シソ等の地域の農産物を活用した特産品づくりが行われております。 汗見川活性化推進委員会や町では更なる活動の磨き上げや地域資源を活用した新たな取り組みの開発・実施が考えられており、平成24年7月からは集落活動センター推進事業を活用して具体的な取り組みがすすめられています。</p> <p>&lt;課題&gt; ・交流人口拡大事業については、清流館の宿泊者数の半数以上は夏場に偏っている等、汗見川での人口交流の主な時期は夏場になっております。これから交流人口拡大事業していくためには、夏場以外の体験交流事業を実施するなど、年間通じて汗見川にお客さんが訪れるような仕組みが必要です。 ・特産品づくりについては、しそ・ゆずジュースやどぶろく、味噌等、地域の農産物を使った特産品が製造・販売されておりますが、PRや販売の体制が確立されていないため、十分な収益につながっておりません。また、多くの種類の特産品をつくり、地域の特産品を充実させる必要があります。 ・将来を考えると高齢化による地域活動の担い手の不足が懸念されます。 ・耕作放棄地の増加やシカ等の鳥獣被害の増加が深刻化しており、特産品の原料となる農作物の生産に支障がでており、今後は問題解決に向けた取り組みが必要となっております。</p>
	今後の方向性

『地域活性化を活かした具体的な取り組み』(案)

『地域アクションプラン』における具体的な取り組み案


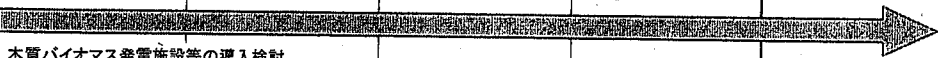
項目	取り組み名	実施主体
	集落活動センター「汗見川」が実施する交流人口拡大事業と特産品づくりによる地域活性化の取組	
	関係市町村名	本山市

事業の概要	<p>集落活動センター「汗見川」が実施する、汗見川地域の資源を活用した交流人口拡大事業と特産品づくりにより、地域活性化を目指す。</p> <p>1 交流人口拡大事業 ①既存事業の磨き上げと夏以外の人口交流事業の開発 ②体験事業のインストラクター等の担い手の確保 ③施設整備や機器の導入等、活動拠点(清流館等)の魅力の向上 ④交流人口拡大事業のPR活動</p> <p>■特産品づくり ①既存商品の磨き上げと新たな特産品づくり ②施設整備や機器の導入等、加工体制の強化 ③販売体制の確立 ④特産品のPR活動</p>																																																						
	<p>【事業主体】 汗見川活性化推進委員会、本山市 【関係機関】</p>																																																						
主な内容・スケジュール	<table border="1"> <thead> <tr> <th>取組手順</th> <th>事業実施【H24】</th> <th>1年後【H25】</th> <th>2年後【H26】</th> <th>3年後【H27】</th> <th>4年後【H28以降】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">交流人口拡大事業</td> <td colspan="5">既存事業の磨き上げ</td> </tr> <tr> <td colspan="5">夏以外の交流人口拡大事業の開発</td> </tr> <tr> <td colspan="5">インストラクター等の担い手の確保</td> </tr> <tr> <td colspan="5">施設整備や機器の導入など、活動拠点(清流館等)の魅力の向上</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">特産品づくり</td> <td colspan="5">既存事業の磨き上げ</td> </tr> <tr> <td colspan="5">新たな特産品づくり</td> </tr> <tr> <td colspan="5">販売体制の確立</td> </tr> <tr> <td colspan="5">施設整備や機器の導入など、加工体制の強化</td> </tr> <tr> <td colspan="6">特産品のPR活動</td> </tr> </tbody> </table>	取組手順	事業実施【H24】	1年後【H25】	2年後【H26】	3年後【H27】	4年後【H28以降】	交流人口拡大事業	既存事業の磨き上げ					夏以外の交流人口拡大事業の開発					インストラクター等の担い手の確保					施設整備や機器の導入など、活動拠点(清流館等)の魅力の向上					特産品づくり	既存事業の磨き上げ					新たな特産品づくり					販売体制の確立					施設整備や機器の導入など、加工体制の強化					特産品のPR活動					
	取組手順	事業実施【H24】	1年後【H25】	2年後【H26】	3年後【H27】	4年後【H28以降】																																																	
交流人口拡大事業	既存事業の磨き上げ																																																						
	夏以外の交流人口拡大事業の開発																																																						
	インストラクター等の担い手の確保																																																						
	施設整備や機器の導入など、活動拠点(清流館等)の魅力の向上																																																						
特産品づくり	既存事業の磨き上げ																																																						
	新たな特産品づくり																																																						
	販売体制の確立																																																						
	施設整備や機器の導入など、加工体制の強化																																																						
特産品のPR活動																																																							
指標・目標	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>事業実施【H24】</th> <th>1年後【H25】</th> <th>2年後【H26】</th> <th>3年後【H27】</th> <th>4年後【H28以降】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>清流館宿泊者数</td> <td>900</td> <td>1100</td> <td>1200</td> <td>1500</td> <td>1800</td> </tr> <tr> <td>【設定指標】</td> <td colspan="5">【推計の考え方】</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="5">【考え方】</td> </tr> </tbody> </table>	項目	事業実施【H24】	1年後【H25】	2年後【H26】	3年後【H27】	4年後【H28以降】	清流館宿泊者数	900	1100	1200	1500	1800	【設定指標】	【推計の考え方】						【考え方】																																		
	項目	事業実施【H24】	1年後【H25】	2年後【H26】	3年後【H27】	4年後【H28以降】																																																	
清流館宿泊者数	900	1100	1200	1500	1800																																																		
【設定指標】	【推計の考え方】																																																						
	【考え方】																																																						
備考																																																							



総事業費等	総事業費	千円 (うち24年度 千円)
	(内訳)	国: 県: 市町村: その他: )
備考	想定する支援事業(補助金名称、人的支援の内容、その他)	
	国: 県: 市町村: 人的支援:	





第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
					チップ材の取扱量	2,500t
原木(C材)の安定供給						
土佐町森林資源活用検討協議会による事業展開の検討、仕組みづくり						
林地残材等の活用に向けた「木の駅プロジェクト」等による仕組みづくり (本山町、土佐町、大川村)		林地残材等の活用に向けた「木の駅プロジェクト」等による実践活動 (本山町、土佐町、大川村)				
						
木質バイオマス発電施設等の導入検討						
木質バイオマス発電施設等の導入に向けた調査・検討 (大豊町)						



第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
					チップ材の取扱量	2,500t
原木(C材)の安定供給						
土佐町森林資源活用検討協議会による事業展開の検討、仕組みづくり						
林地残材等の活用に向けた「木の駅プロジェクト」等による仕組みづくり (本山町、土佐町、大川村)		林地残材等の活用に向けた「木の駅プロジェクト」等による実践活動 (本山町、土佐町、大川村)				
						
木質バイオマス発電施設等の導入検討						
木質バイオマス発電施設等の導入に向けた調査・検討 (大豊町)	木質バイオマス発電施設等の整備 (大豊町)		木質バイオマス発電施設等の稼働 (大豊町)			



## 仁淀川地域アクションプランの進捗状況等について

H24. 8. 24

仁淀川地域本部

### 1 地域アクションプランの実施状況（総括）

#### (1) 総評

全38プランについて、実行支援チームを編成、事業推進にあたっての支援と進捗管理を実施し、地域アクションプランに掲げた目標の達成に向け取り組んでいる。

全体としては、計画どおりの進捗を見ており、事業計画が固まったものは、順次、支援事業を導入し具体的な事業実施に取り組んでいる。

特に観光に関しては、24年度は、昨年度NHKでの仁淀川を舞台にしたドラマや特集番組の放送や国土交通省の水質調査で仁淀川が全国1位になった追い風もあり、ゴールデンウィークの主要観光施設への入込客数が前年比で増加しているほか、ツアー造成の実績数も順調に増加している。

この追い風を生かし、地域内の観光資源の一層のブラッシュアップを図るとともに、県の観光振興施策とも連携して県内外へPRを行い、仁淀川地域への誘客につなげる。

#### (2) 具体的な動き

##### ①地域の重点的な動き

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p><b>地域の特徴を活かした多様な農業の展開</b></p> <p>■No. 3 薬用作物の産地拡大による所得の向上 (仁淀川町、佐川町、越知町、日高村)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農事組合法人ヒューマンライフ土佐が中心となった薬用作物の栽培拡大への取組</li> <li>・ミササロ作付面積 H21 (38.9ha) → H23 (48ha)</li> <li>・サンショウ作付面積 H21 (25.6ha) → H23 (62ha)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栽培者の拡大については、ヒューマンライフ土佐の関係者による口コミ等によるところが大きく、その範囲が限られる。</li> <li>⇒農業部門を始めとする関係部局と連携した取組を進める。</li> </ul>
<p>■No. 4 力強い高糖度トマト産地の確立(仁淀川町、佐川町、日高村)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栽培管理指導による栽培技術向上やトマトの目慣らし会、産地コンセプト検討会の開催</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安定的な生産体制の確立と差別化による販売戦略の展開が重要である。</li> <li>⇒引き続き栽培技術の向上や産地コンセプト検討会の取組を進める。</li> </ul>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>「森の工場」などによる木材の増産体制の確立</p> <p>■No. 13 仁淀川流域における木材産業の振興 (仁淀川地域全域)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業説明会を開催し、新たな補助制度の周知を徹底</li> <li>・ 増産に取り組む森の工場事業体の把握(事業体数8社)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後増産体制づくりを的確に進める必要がある。 ⇒森の工場事業体の増産能力や体制づくりの具体的な進捗状況を把握するなど、事業体と情報共有を図りながら取組みを進める。</li> </ul>
<p>「宇佐のうるめ」の消費拡大</p> <p>■No. 15 うるめのブランド化(土佐市)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1四半期の売上が、目標7,500千円に対し7,656千円</li> <li>・ 土佐市内の飲食店が参加し、うるめを活用したメニューを提供する「一本釣りうるめ祭り」を開催</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年間売上目標40,000千円の達成に向けて販路拡大が課題 ⇒見本市の出店等による販路拡大を目指す。</li> <li>・ 取引先から、個人向け商品の品ぞろえを増やせないかとの要望が多い。 ⇒新たな加工品の開発を検討する。</li> </ul>
<p>「土佐和紙」の販売の促進</p> <p>■No. 16 「土佐和紙」の販売促進と保存・継承 (土佐市、いの町)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 紙すき体験で、紙の博物館と土佐和紙工芸村で分担して受け入れを実施(城西館から要請があった企業研修ツアー182名を6月4日に受入)</li> <li>・ いの町で土佐和紙の魅力向上スタッフを新規雇用</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土佐和紙の伝統や工芸品としての魅力をPRする支援にとどまっているため、製紙業全般についての支援が不十分である。 ⇒紙産業技術センターや商工会等のネットワークの力を借りて、まずは事業者と地域本部との関係づくりを行う。</li> <li>・ 和紙の加工品は、商品アイテムも増え好評の商品もあるが、より多くの利益をあげるための工夫が必要 ⇒コストダウンの検討を行う。</li> <li>・ 手すき和紙職人の高齢化が進んでおり、後継者育成が課題 ⇒今後は市町村や手すき和紙協同組合等と協議し、後継者育成の仕組み作りを検討する。</li> </ul>



重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>「奇跡の清流仁淀川」ブランドによる体験型観光などの推進による交流人口の拡大と食観光・物産販売など観光の産業化の推進</p> <p>■No. 25 「奇跡の清流仁淀川」流域の広域観光推進（仁淀川地域全域）</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仁淀川地域観光協議会の旅行会社への売り込みによるツアー造成は昨年度に比べて大きく実績数を伸ばしている。</li> <li>・屋形船の運航（日高村）や、河原でのバーベキューサービス（いの町）など新たな体験メニューも開始された。</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ツアーの造成が進むことによって、現地でのアテンドや営業に向ける仁淀川地域観光協議会の人役が徐々に不足してきている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒関係市町村等と連携を図りながらサポートに努める。</li> </ul> </li> <li>・県版ふるさと雇用事業を活用しているが、3年後の財源確保が課題 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒市町村の財政負担について今後協議を行う。</li> </ul> </li> <li>・ツアーの造成は順調に推移しているが、長期的に安定した誘客を行うためには、常に旅行会社やお客様に注目してもらえる楽しみ方の提案が欠かせない。 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒研修会等を通じて市町村や観光施設の担当者の意識の醸成を図る。</li> </ul> </li> </ul>

②上記以外で特記すべき取組

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 7 土佐文旦の加工（土佐市）</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H23年度に産振補助金（ステップアップ事業）を活用して開発した文旦飲料がH24年1月～3月にANA国内線機内販売に採用され、文旦の知名度が高まった。</li> <li>・菊水酒造(株)では文旦果汁の取扱量を増やすため、新たな商品を開発した。</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文旦飲料については、清涼飲料としては高価格帯の商品であり、今後はターゲットを絞った販促活動が必要 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒県外の見本市等に積極的に出店し、高級量販店等との取引を目指す。</li> </ul> </li> <li>・文旦果汁の取扱量を増やすためには、県外の加工事業者への売り込みも必要 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒今後は県外の加工事業者との商談も積極的に進める。</li> </ul> </li> </ul>

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 8 生姜の加工(生姜出荷施設整備事業) (土佐市)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県産振補助金により新たな加工工場が整備され、生産体制が強化された。</li> <li>・加工品販売拡大のため、新たな商品(生姜漬物、生姜の菓子)を開発中</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産量拡大に向けて、原材料である生姜の確保が課題 ⇒生産農家と作付面積等について協議を行う。</li> <li>・加工品売上の増のため新たな販路拡大が課題 ⇒通販を活用するとともに、全国各地の商談会に積極的に参加する。</li> </ul>
<p>■No. 11 本川きじの販路の拡大と顧客ニーズに対応した商品開発(いの町)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業振興センターと販路拡大・新商品開発に関する協議を行い、8月からアドバイザー制度を活用し専門家を派遣することになった</li> <li>・ゆうパック(秋冬ギフト)に、「きじ肉スライスセット」が採用決定</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状では売上が冬季に集中しているため、年間を通して販売できる商品開発が課題 ⇒今後は高級量販店をターゲットとした新商品の開発を行う予定</li> <li>・安定した生産体制の構築が必要 ⇒孵卵率・飼育状況の把握と改善のため、県中央家畜保健衛生所と連携して指導を行う。</li> </ul>
<p>■No. 17 高岡日曜市の活性化などによる地域商業の振興(土佐市)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高岡商店街活性化のための集客施設の整備について、H23年度に基本計画をとりまとめ、産振補助金を申請 ⇒7月23日審査会、8月1日採択決定</li> </ul>

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 19 地域産品を活用した冷菓等の製造販売 (いの町)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・販路拡大を目指し、海外(シンガポール、香港、アメリカ)での商談会等に積極的に参加</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・増産に対応するため、新たな設備投資(水道設備等)が必要</li> </ul> <p>⇒産振補助金の申請を検討中</p>
<p>■No. 20(株)フードプランを中心とした農山村6次産業化の推進(仁淀川町)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・量販店の産直市への野菜集荷を開始(4月～)</li> <li>・施設規模拡大に向けた農業系支援策の情報を収集</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現施設でのカット野菜の生産能力が限界に達しており、生産規模の拡大を検討中であるが、投資規模が大きくなることが予想され、財源手当てが課題となる。</li> </ul> <p>⇒財源となる支援事業のマッチングを検討中</p>
<p>■No. 21 売れる商品づくりによる地産外商の推進(佐川町)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・量販店での販促活動(牛乳、地乳プリン、地乳パン等)を実施(5/13 香川県高松市)</li> </ul> <p>(「地乳」に対する県外消費者の反応は良好)</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地乳の安定供給が課題</li> </ul> <p>⇒販売促進の成果を確認しながら効率的な操業を徹底する。</p>
<p>■No. 24 企業進出による雇用の増(ペット用木質系排泄物処理剤製造施設整備事業)(日高村)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木質系処理剤の新商品の試作品完成(4月)</li> <li>・既存商品の生産は日量350～400ケースで推移</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製品の品質向上やコストダウンへの取り組みが重要</li> </ul> <p>⇒一定期間(1週間～10日)で生産方法等の試行とその検証に取り組んでいる。</p>

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 36 直販市を核とした観光資源の整備による交流人口の増と地域の活性化(日高村)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・直販所「さんさん市」の施設整備計画の策定について、産業振興総合補助金(ステップアップ)を申請(6/27 地域本部審査、7/25 交付決定)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・直販所の効果的な整備計画を策定する必要がある。 ⇒ステップアップ事業により専門家を交え事業計画の策定に取組む。</li> </ul>
<p>■No. 37 屋形船を活用した拠点施設の整備による交流人口の増と地域の活性化(日高村)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)屋形船仁淀川が屋形船の運航を開始(5/6～) 利用者数 370名(7月末日現在)</li> <li>・屋形船の発着場周辺の整備計画策定について観光拠点等整備事業費補助金を申請(6/13 地域観光課ヒアリング)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公衆トイレや販売施設等、屋形船発着場の周辺整備が必要 ⇒来年度に施設整備を計画</li> </ul>

- 2 平成 24 年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況(交付決定又は採択事業)
  - ・No.17「高岡日曜市の活性化などによる地域商業の振興」(土佐市)  
審査会(7月23日)、採択決定(8月1日)
  - ・No.36「直販市を核とした観光資源の整備による交流人口の増と地域の活性化」(日高村) 地域本部審査(6月27日)、交付決定(7月25日)
  
- 3 地域アクションプランの追加、修正、削除(予定)項目
 

[修正]NO. 19 地域産品を活用した冷菓等の製造販売(いの町)

増加傾向にある仁淀川流域への観光客や工場見学者等に対して、販売を強化するため、直営売店を拡張する等の取組を追加
  
- 4 県民参画に向けた取組
  - ・日高村行政連絡協議会で第2期計画の説明(4/22)
  - ・越知町区長連合協議会春季総会で第2期計画の説明(4/27)
  - ・土佐市商工会総会、日高村商工会総会で第2期計画の説明(5/23)
  - ・いの町商工会総会で第2期計画の説明(5/25)
  - ・越知町商工会総会で第2期計画の説明(5/29)
  - ・商品開発を検討する企業への「土佐まるごとビジネスアカデミー」の紹介(1件)
  - ・「土佐の産業おこし参加プラン」の市町村広報誌への掲載に向けた調整(流域全6市町村)

5 相談案件：6件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/14	新エネルギー	公共施設を活用した太陽光発電事業
2	4/16	加工製品	新商品開発に向けたウコンの栽培
3	4/19	紙製品	一次産品を活用した紙製品の開発
4	5/17	食品加工	ねぎを活用した加工製品の開発
5	5/22	食品加工	一次産品の産地と連携したドレッシング製造事業の展開
6	6/14, 8/7	食品加工	土佐市内への生姜の加工場建設

修正項目(案)

【仁淀川地域】


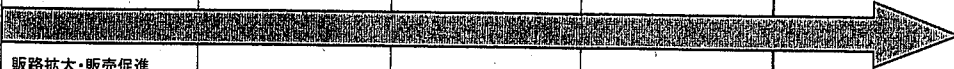

項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
19 地域産品を活用した冷凍等の製造販売 《いの町》	地域特産品のゆず、トマト、いちご、文旦等を活用したアイスクリーム、シャーベット、ドリンク等の生産性の向上を図るとともに、地域生産者の所得向上を目指す。	高知アイス	・生産体制および品質管理の強化(H22~23) ・商品開発および販路拡大(H22~23) ◆開発したドリンクが好評で受注量が増加したが、同時期に生産体制を強化するための施設設備を整備しており、増産が円滑にできた。また、平成22年度には香港でアイスクリームの販売許可を取得することができ、平成23年度には海外での更なる販路拡大を目指し、海外向けHPの作成や商談会参加に取組などしており、今後の販路拡大が見込まれる。	・周年販売を目指し、海外市場の販路拡大 ・顧客ニーズへの対応	◆冷凍等製造施設設備の整備  ◆販路拡大・販売促進  ◆商品開発

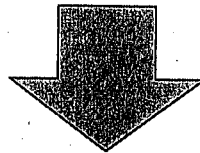
修正前

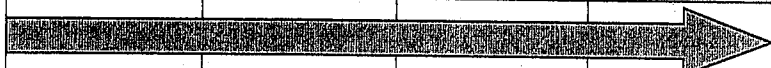


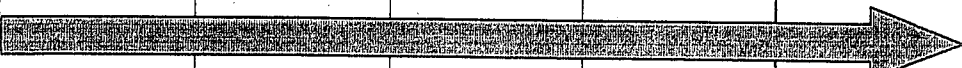


項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
19 地域産品を活用した冷凍等の製造販売 《いの町》	地域特産品のゆず、トマト、いちご、文旦等を活用したアイスクリーム、シャーベット、ドリンク等の生産性の向上を図るとともに、地域生産者の所得向上を目指す。	高知アイス	・生産体制および品質管理の強化(H22~23) ・商品開発および販路拡大(H22~23) ◆開発したドリンクが好評で受注量が増加したが、同時期に生産体制を強化するための施設設備を整備しており、増産が円滑にできた。また、平成22年度には香港でアイスクリームの販売許可を取得することができ、平成23年度には海外での更なる販路拡大を目指し、海外向けHPの作成や商談会参加に取組などしており、今後の販路拡大が見込まれる。	・周年販売を目指し、海外市場の販路拡大 ・顧客ニーズへの対応	◆冷凍等製造施設設備の整備  ◆販路拡大・販売促進  ◆商品開発  ◆観光客や工場見学者等への販売強化

修正後

第2期計画					H28以降	指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	指標		目標値(H27)	
						冷凍等の販売額 (H22:3.75億円)	4.37億円
冷凍等製造施設設備の整備 新商品製造に対応する設備の検討及び導入		増産体制に対応する設備の検討及び導入					
							
販路拡大・販売促進 海外での展示・商談会への参加							
海外向けインターネットHPの内容検討・改良 海外商談会用プロモーションビデオの検討・制作							
							
商品開発 顧客に対応した商品開発の強化							



第2期計画					H28以降	指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	指標		目標値(H27)	
						冷凍等の販売額 (H22:3.75億円)	4.37億円
冷凍等製造施設設備の整備 新商品製造に対応する設備の検討及び導入		増産体制に対応する設備の検討及び導入					
							
販路拡大・販売促進 海外での展示・商談会への参加							
海外向けインターネットHPの内容検討・改良 海外商談会用プロモーションビデオの検討・制作							
							
商品開発 顧客に対応した商品開発の強化							
							
観光客や工場見学者等への販売強化 直営売店の拡張		観光スポットとしてのPRと直営売店独自の商品開発の検討・実施					





# 高幡地域アクションプランの進捗状況等について

H24. 8. 29  
高幡地域本部

## 1 地域アクションプランの実施状況（総括）

### (1) 総評

2期目の産業振興計画がスタートし、それぞれのAPが進められる中で、大きく動き出したAPが出てきている。一方で、これまでの取り組みにより各APの課題が絞られてきた。

津野町のアンテナショップ「満天の星」が4月11日にオープンし、7月末までに年間目標の約8割の売り上げを達成している。

四万十町の海洋堂ホビー館は、オープン1周年を迎え、24年度の入場者数が4カ月で約2万6千人と年間目標の半数を超え、さらに企画展示・体験機能の向上を行う。

これらの大きく動き出したAPを中心にAPの関係者の意識の向上や、APにはなっていないものの民間事業者による商人塾やMBAへの参加者も多くなっており、「産業振興」への意識が高まってきている。

また、地域への産業振興計画の浸透により、新たなAPとなる動きもいくつか出てきている。

### (2) 具体的な動き

#### ① 地域の重点的な動き

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p><b>まとまりのある産地づくり</b></p> <p>■No. 1 地域基幹園芸品目の生産振興と農家の所得向上（須崎市、中土佐町、津野町）</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現地検討会・目慣らし会等（16回開催）</li> <li>・栽培現地実証圃の調査・検討（7ヶ所）</li> <li>・IPM技術実証圃の調査・検討（7ヶ所）</li> <li>・県外への消費宣伝（6回：JA園芸部）</li> <li>・重油代替加温機の実態調査の結果から、次園芸年度でより詳しく、調査範囲を広げて検討を行うこととなった。</li> <li>・天敵導入の関心の高まりで、栽培技術の改善等にも興味向けられるようになってきた。</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>個々の農家の所得の安定化 ⇒栽培技術の改善や重油高騰対策の継続実施</p>
<p>■No. 2 中山間地域での持続可能な農林業経営の確立（梶原町、津野町）</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栽培指導 現地検討会3回、実証圃設置5カ所、個別巡回指導等29回</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>平坦地なみの所得を上げる農家の育成 中山間地域の園芸産地の維持 ⇒栽培指導の継続実施</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 3 基幹品目等の維持・発展による地域農業の活性化(四万十町)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現地検討会の開催 ミョウガ 1回、ピーマン 2回、ニラ 4回、露地ショウガ 2回</li> <li>・JAと連携した品目別経営分析説明会の開催 9回(ミョウガ、ピーマン、ニラ、ショウガ 他) 参加率 28%</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>重油高騰による所得の減少 ⇒木質ペレットボイラーの導入(6基)</p>
<p><b>森を活かす取組</b></p> <p>■No. 14 「四万十ヒノキ」のブランド化を主体とした地域森林資源の有効活用(中土佐町、四万十町)</p> <p>■No. 15 循環型社会の構築を促進するための森林資源の有効活用(梶原町)</p> <p>■No. 16 「1億円産業の復活」をスローガンとする津野山産原木シイタケの産地化の推進(梶原町、津野町)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四万十ヒノキブランド化協議会幹事会開催(6/1)</li> <li>・外商活動 98回(県内 53回、県外 45回)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域団体商標登録の対象品目や基準づくり ⇒四万十ヒノキブランド化協議会での検討と実行</li> </ul> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・営業活動延べ 28回(県内 13回、県外 15回)</li> <li>・ペレット生産に関する協議(4回)</li> <li>・製材品販売量 713m<sup>3</sup>(うち F S C 認証材 267m<sup>3</sup>) (6月末実績)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>ペレット生産の強化 ⇒おが粉製造機の導入を検討</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県椎茸品評会で梶原の新規生産者が金賞受賞</li> <li>・全農全国椎茸品評会で地域から初めて全農理事長賞を受賞</li> <li>・H23 繰越事業であるモデルほだ場の整備実施</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>産地化に向けた体制づくり ⇒JA主催による1億円に向けた協議</p>



重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 26 津野町地産地消・外商販売戦略(津野町)</p> <p>■No. 27 四万十町拠点ビジネス体制の強化(四万十町)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加工所・アンテナショップ「満天の星」オープン 4/11 売上高：80,493千円(7月末実績)</li> <li>・生産者会の発足(4/19)</li> <li>・販売会議・経営会議・直販所連絡会・満天の星定例会での売上高の分析・改善強化などを実施</li> <li>・直販所(6ヶ所、満天の星の直販部門含む) 売上高：56,628千円(対前年比127.3%)(7月末実績) ※H23売上高：137,791千円(対前年比101.2%)</li> <li>・新十津店「風車のまちの台所」8/18オープン</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・直販所の野菜等商品が少ない ⇒7月に生産者への説明会を実施</li> </ul> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四万十町拠点ビジネス運営協議会設立(5/1)</li> <li>・売上高：66,820千円(5月末実績 前年対比103.9%) ※H23売上高：392,525千円(前年対比105.3%) 道の駅めぐり窪川：243,564千円(前年対比112.5%) 松葉川温泉：148,127千円(前年対比99.4%)</li> <li>・しまんとマルシェ「四万十の蔵」7/28オープン</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施主体の経営力・体制の強化 ⇒産業振興アドバイザー制度、土佐MBAの活用等</li> </ul>
<p>中心市街地の賑わいづくり</p> <p>■No. 21 須崎市まち全域がサービスエリア構想推進事業(須崎市)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・街角ギャラリー、旧三浦邸の改修案作成委託</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SAT構想の焦点の絞り込み ⇒須崎市役所でSAT構想の再検討</li> <li>・街角ギャラリー、旧三浦邸の改修 ⇒市場周辺や富士ヶ浜と一体的に再検討</li> </ul>
<p>滞在型、体験型観光の推進</p> <p>■No. 28 須崎市の教育旅行や団体旅行の誘致に向けた体制の整備(須崎市)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民泊研修の開催</li> <li>・民泊受入見込みの調査実施</li> <li>・教育旅行の受入 4校、851人</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民泊受入世帯の拡大 ⇒民泊研修への参加者拡大</li> </ul>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 30 梶原町の体験型・滞在型観光の推進 (梶原町)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行会社への営業活動 東京(4/18-20)、東京(5/14-15)、福岡・広島(6/5-6)、京阪神(6/20-22)</li> <li>・愛媛県のイベント参加によるPR 松山春まつり4/8、砥部焼まつり4/21~22</li> <li>・主要宿泊施設宿泊者数：2,671人(対前年比：111.0%) (7月末実績)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>「龍馬脱藩の郷」を継続活用した誘客活動の強化 ⇒H25の「梶原千百年物語り」のPR実施</p>
<p>■No. 31 清流と風と歴史に会えるまち津野町 まるごと体感！～観光集客アップ作戦～ (津野町)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあい特産市でのPR(5/27)</li> <li>・アンテナショップ職員の観光研修実施(2回延べ6人)</li> <li>・愛媛県南予地方へのPR(4/27)</li> <li>・主要宿泊施設宿泊者数：1,878人(対前年比：100.4%) (6月末実績)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>県外への情報発信の強化 ⇒10月に津野町で開催される全国源流サミットでのPR実施</p>
<p>■No. 32 わざわざいこう「海洋堂ホビー館四万十」を核としたミュージアムのまちづくり (四万十町)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入館者数25,669人(7月末実績) ※オープン以降の入館者数： 114,421人(H23.7.9~H24.8.15)</li> <li>・企画展等の実施 ジオラマの世界展(7/7~9/24) 海洋堂ホビートレインフォトコンテスト(6/2~7/2) 日本家屋のミニチュア展(3/17~5/28) など ※海洋堂かっぱ館オープン(7/7) 入館者数18,480人(H24.7.7~8.15実績)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海洋堂ホビー館を拠点とした滞在型観光のしくみづくり</li> <li>・受入体制の充実 ⇒観光協会をはじめとする関係機関や広域での連携強化、土佐旅セミナーや産業振興推進総合支援(ステップアップ)事業の活用</li> </ul>

②上記以外で特記すべき取組

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 12 滞在型市民農園等を活用した四万十町の移住を受け入れやすい風土づくり(四万十町)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H24年度は滞在型15棟のうち3棟が利用者交代</li> <li>・クラインガルテン四万十の入居状況 滞在型15棟 うち全棟入居 日帰型16区画 うち利用15区画 ガルデン利用者のうち1世帯が移住</li> <li>・お試し滞在施設運営開始 入居者実績2組(4/28~7/27、7/28~8/27)</li> <li>・HP空家情報更新 移住相談件数39件、移住実績2組4人(7月末)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者の移住に繋がるしくみづくり ⇒地域住民との交流促進、サポート体制の整備</li> </ul>
<p>■No. 18 中土佐町地域ブランドの創出と販売促進(中土佐町)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スラリーアイスを活用した「びんび」ブランドの構築開始 ロゴマーク等の商標登録(6月出願、受付連絡7/6) 「びんび鏝タタキセット」予約販売開始(5/1~) 108セット注文(6月末)</li> <li>・中土佐町観光物産センター設立(6/29)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の方向性決定(収支計画及び体制づくり) ⇒観光物産センターの機能をふまえた関係機関の検討</li> </ul>

2 平成24年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況(交付決定又は採択事業)

単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
該当なし		

3 地域アクションプランの追加、修正、削除(予定)項目

[追加] 四万十町の地域経済活性化の核となる宿泊事業への取組(四万十町)

(概要) 四万十町大正地域に地域観光産業振興の核となるホテルを建設・運営することにより、地域資源の活用・地域雇用の創出・地域経済の活性化に繋げていく。

[修正] NO. 15 循環型社会の構築を促進するための森林資源の有効活用(梶原町)

(内容) 森林資源の更なる活用と木質ペレットの生産量を増量するための設備を導入するために必要な線表の修正

[削除] 該当なし

#### 4 県民参画に向けた取組

##### ○第2期産業振興計画の説明

- ・地域資源活用共有会議で第2期計画の紹介
- ・高南地区農業改良普及推進会議で説明「みんなが主役 高知県産業振興計画」

##### ○土佐の産業おこし参加プラン募集の案内

- ・須崎商工会議所での説明
- ・市町広報紙への掲載に向けた調整  
(掲載：須崎市、中土佐町、梶原町、津野町、四万十町)

##### ○産業振興計画シンポジウムへの参加案内

- ・地域アクションプラン事業者への案内(けんかま、ど久礼もん、満天の星等)
- ・地域団体への案内(JA土佐くろしお、JA津野山、須崎商工会議所等)

##### ○商人塾受講への働きかけ

- ・丸共味噌醤油醸造場、宮進商店、雲の上ガーデン、あぐり窪川：玉沖クラス
- ・四万十ドラマ：白井クラス

#### 5 相談案件：3件




NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/4	雇用	水耕栽培や菌床シイタケの栽培による雇用の拡大
2	4/17	観光交流	建設業の新分野進出による観光交流の拡大
3	5/25	食品加工	須崎市内でうつぼを使ったパイの商品化などを行いたい。

追加項目(案)

【高幡地域】

項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21～23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
34 四万十町の地域経済活性化の核となる宿泊事業への取組  《四万十町》	宿泊施設を整備し、そこを拠点に海洋堂ホビー館や海洋堂かっぱ館、奥四万十自然体験村構想等の地域資源を活用することで、通過型から滞在型観光へのシフトを図り、観光分野を産業として構築、四万十町の経済波及効果に繋げていく。	大正建設業(協)			<p>◆事業計画の作成及び関係機関との調整</p> <p>◆宿泊施設の整備</p> <p>◆商品開発及び販路開拓</p>



第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
 事業計画の作成及び関係機関との調整 収益調査の実施 と調査結果とふまえた事業計画の作成						
 宿泊施設の整備 ホテル建設						
ホテル運営						
体制づくりと人材育成						
 商品開発及び販路開拓						
地域資源の掘り起こし及び地域との連携強化						
商品開発、宣伝(HP等宣伝ツールの作成)、販路開拓						

有望素材シート（24年度）（案）

『地域アクションプラン』検討過程での有望素材の洗い出し

市町村名	四万十町	素材名 関連素材	ウエル花夢、海洋堂ホビー館四万十、海洋堂かっぱ館、四万十川、温泉、奥四万十資源道の駅、高速道路（延伸予定）
------	------	-------------	---

現状・課題	<p>&lt;現状&gt; 人口減少および少子高齢化が進む中山間地域であり、主力であった農業や林業、建設業などの地域産業が衰退している。一方で、四万十エリアには、四万十川、温泉、道の駅（愛媛の三間道の駅～大正道の駅、十和の道の駅、道の駅あくり窪川など）の充実した路線や、「海洋堂ホビー館」、「海洋堂かっぱ館」など西部地域を代表する観光施設、奥四万十自然体験村構想に位置付けられている景観等を有しており、体験メニューなどの観光資源も豊富である。近年、ミュージアムや景観を楽しむ観光客が増えており、地域外から訪れる人々を対象にした観光分野における産業づくりが望まれている。</p> <p>&lt;課題&gt; ・観光客が複数の観光資源をゆっくりと体験することができる地域の核となる宿泊施設が必要。 ・観光資源・商店街がうまく活用されておらず、観光が産業として成立していない（通過型の観光客が多い）。</p>
今後の方向性	<p>滞在型観光の核となる宿泊施設を整備するとともに、地域への経済波及効果を視野に入れて、宿泊施設を拠点に各関係機関との連携を強化して地域の豊富な観光資源をリンクし、観光客が体験、周遊することができる環境を整備し、中山間地域の活性化を図る。</p>

『地域アクションプラン』を基にした具体的な取り組み

『地域アクションプラン』における具体的な取り組み案

項目	取り組み名	四万十町の地域経済活性化の核となる宿泊事業への取組
	関係市町村名	四万十町

事業の概要	<p>○四万十町大正地域に地域観光産業の核となるホテルを建設、運営し、そこを拠点に海洋堂ホビー館や海洋堂かっぱ館、奥四万十自然体験村構想等の地域資源を活用することで、通過型から滞在型観光へのシフトを図り、四万十町の経済波及効果に繋げていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業収益調査を実施し、ホテルコンセプト、機能、運営方針、事業収支予想等をふまえた効果的な事業計画を作成。</li> <li>・ホテルの整備、運営</li> <li>・ホテルを核に地域の体験メニュー等と組み合わせ商品を作成し、通過型から滞在型観光にシフトする一役を担う。</li> </ul>
-------	--

事業主体等	<p>【事業主体】 大正建設業協同組合</p> <p>【関係機関】 四万十町、観光協会、商工会等</p>
-------	--

取組手順	事業実施【H24】	1年後【H25】	2年後【H26】	3年後【H27】	4年後【H28以降】
		事業収益調査 事業計画の作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収益調査の実施</li> <li>・事業計画の作成</li> </ul>		
ホテル建設と運営		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホテル建設、体制整備</li> <li>・人材育成研修</li> <li>・各関係機関との連携</li> </ul>	・オープン		
販路開拓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源の掘り起こし</li> <li>・地域との調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験メニュー等商品開発</li> <li>・宣伝ツールの作成（HPの制作等）</li> </ul>		・HP運用開始	

指標・目標	項目	事業実施【H24】	1年後【H25】	2年後【H26】	3年後【H27】	4年後【H28以降】
	雇用数の増			15名新規		2名増
【設定根拠】		【推計の考え方】 ホテル運営開始当初より、必要な専門スタッフを雇い入れサービス提供していく 2年後には、客室稼働率の増加を見込みスタッフ増強を行う				
		【考え方】				

総事業費等	<p>総事業費 300,000千円 (うち25年度300,000千円)</p> <p>(内訳 国： 県： 市町村： 千円 その他： )</p> <p>想定する支援事業（補助金名称、人的支援の内容、その他）</p> <p>国： 県：高知県産業振興推進総合支援事業 人的支援：</p> <p>その他：</p>
-------	--

備考	
----	--



修正項目(案)

【高幡地域】

項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
15 循環型社会の構築を促進するための森林資源の有効活用 《橋原町》	持続可能な森林経営のもとで計画的な木材生産を行い、FSC森林認証基準に基づき生産した木材製品の販売、及び林地残材等を活用した木質ペレットの製造・販売等を通じて、地域林業の中核となる森林組合の経営体質を強化し、森林所有者への所得向上を推進する。	・橋原町森林組合  (ゆすはらペレット ㈱)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安定的な木材生産(H21~23)</li> <li>◆興業種とのJVによる効率的な「森の工場」を運営し、木材生産量648m3(H22)を達成。</li> <li>・FSC認証材の拡充による製材品の販売強化(H21~23)</li> <li>◆製材品需要が低迷するなか、継続的な営業展開によりFSC認証材の販売量1,015m3(H22)を堅持。</li> <li>・木質ペレットの安定供給(H21~23)</li> <li>◆木質エネルギーを活かした循環型の森づくりの一環として、木質ペレットの安定供給で販売額24,406千円を確保。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通年的な生産体制の確立と生産性の向上</li> <li>・新規顧客開拓のための専任の営業担当者が不在。</li> <li>・一般材との差別化を図るFSC認証材のPR強化</li> <li>・ボイラー等のペレット活用施設の普及とペレット品質の安定化(規格等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆森林資源の成熟度や事業体の体質に即した計画的な木材生産の推進</li> <li>◆営業体制の強化と顧客へのPR促進によるFSC認証材の販売拡充</li> <li>◆木質バイオマスの利活用の促進</li> </ul>

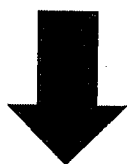
修正前



項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
15 循環型社会の構築を促進するための森林資源の有効活用 《橋原町》	持続可能な森林経営のもとで計画的な木材生産を行い、FSC森林認証基準に基づき生産した木材製品の販売、及び林地残材等を活用した木質ペレットの製造・販売等を通じて、地域林業の中核となる森林組合の経営体質を強化し、森林所有者への所得向上を推進する。	・橋原町森林組合 ・橋原町 ・ゆすはらペレット ㈱	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安定的な木材生産(H21~23)</li> <li>◆興業種とのJVによる効率的な「森の工場」を運営し、木材生産量648m3(H22)を達成。</li> <li>・FSC認証材の拡充による製材品の販売強化(H21~23)</li> <li>◆製材品需要が低迷するなか、継続的な営業展開によりFSC認証材の販売量1,015m3(H22)を堅持。</li> <li>・木質ペレットの安定供給(H21~23)</li> <li>◆木質エネルギーを活かした循環型の森づくりの一環として、木質ペレットの安定供給で販売額24,406千円を確保。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通年的な生産体制の確立と生産性の向上</li> <li>・新規顧客開拓のための専任の営業担当者が不在。</li> <li>・一般材との差別化を図るFSC認証材のPR強化</li> <li>・ボイラー等のペレット活用施設の普及とペレット品質の安定化(規格等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆森林資源の成熟度や事業体の体質に即した計画的な木材生産の推進</li> <li>◆営業体制の強化と顧客へのPR促進によるFSC認証材の販売拡充</li> <li>◆木質バイオマスの利活用の促進</li> </ul>

修正後

第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
森林資源の成熟度や事業者の体質に即した計画的な木材生産の推進 木材生産基盤(作業路・高性能林業機械)の整備状況に応じた生産システムの確立と生産性の向上を推進					木材生産量 (H19:0m3) (H22:648m3)	5,000m3
営業体制の強化と顧客へのPR促進によるFSC認証材の販売拡充 県内外の新たな顧客の開拓を図り得る人員の配置と機会の活用を図り、FSC認証材を核とした木材加工品の販売拡充					認証材の販売量 (H19:1,462m3) (H22:1,015m3)	1,600m3
木質バイオマスの利活用の促進 森林所有者等の生産意欲を増大し得る体制を整備しつつ、ペレット生産のための原材料の安定供給を図る 木質ペレットを中心とした木質バイオマスの利活用の促進					ペレット原材料 (H22:2,465t) ペレット生産量 (H22:1,108t)	3,700t 1,500t



第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
森林資源の成熟度や事業者の体質に即した計画的な木材生産の推進 木材生産基盤(作業路・高性能林業機械)の整備状況に応じた生産システムの確立と生産性の向上を推進					木材生産量 (H19:0m3) (H22:648m3)	5,000m3
営業体制の強化と顧客へのPR促進によるFSC認証材の販売拡充 県内外の新たな顧客の開拓を図り得る人員の配置と機会の活用を図り、FSC認証材を核とした木材加工品の販売拡充					認証材の販売量 (H19:1,462m3) (H22:1,015m3)	1,600m3
木質バイオマスの利活用の促進 森林所有者等の生産意欲を増大し得る体制を整備しつつ、ペレット生産のための原材料の安定供給を図る 木質ペレットを中心とした木質バイオマスの利活用の促進 ペレット製造施設等の導入					ペレット原材料 (H22:2,465t) ペレット生産量 (H22:1,108t)	3,900t 1,700t



## 幡多地域アクションプランの進捗状況等について

H24. 8. 27  
幡多地域本部

### 1 地域アクションプランの実施状況（総括）

#### (1) 総評

- ・幡多地域のアクションプラン（41 案件）は、当初計画に沿って概ね順調に進捗している。
- ・第1期からの継続案件については、特に農林水産物の加工品等の取組に関して、今後、地域の基幹産業として大きく成長していくには、販路のさらなる拡大等の課題はあるものの、販促活動の強化により、販売量の増加がみられるものがある。また、産業振興推進総合支援事業費補助金を活用して、事業規模や販売量の拡大に取り組んでいるものもある。
- ・第2期からの新たな案件（7件）については、事業実施が困難となり削除となるものが1件あるものの、その他の案件については、1件が産業振興推進総合支援事業費補助金の採択を受けて円滑に事業がスタートするなど、計画どおりに事業が進んでいる。

#### (2) 具体的な動き

##### ①地域の重点的な動き

重点的な取組	取組状況（結果、成果を含む）・課題と今後の対応
<p><b>安定した農業経営体づくりと地域に根ざした有望品づくり</b></p> <p>■No. 1 水稲と露地野菜を基幹とした水田農業の担い手育成（幡多地域全域）</p> <p>■No. 3 三原村農業公社を核とした農業支援システムの構築（三原村）</p> <p>■No. 6 有望品目への転換を含めた大方南部地域の産地再生（黒潮町）</p>	<p>[取組状況]</p> <p>・大規模志向農家ネットワーク化の準備と有望品目の検討</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>管内には大規模農家の事例が少ない ⇒対象者を絞り込み、研修会等の開催</p> <p>[取組状況]</p> <p>・緊急雇用事業（27,042千円）で11名の雇用 ・県ふるさと雇用事業（18,884千円）で6名の雇用 ・販路拡大に向け県産業振興アドバイザー制度の活用</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>更なるユズ産地の拡大 ⇒第2期ユズ産地化計画策定中（H23:28ha→H27:50ha）と青果出荷率の向上</p> <p>[取組状況]</p> <p>・まとまりのある園芸産地活性化事業による、点滴灌水実証ほ2戸（カスミソウ・ニラ）の設置</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>水源地（用水量）の調査及び確保 ⇒地権者協議と揚水方法（経費）の検討</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 20 直七の生産、加工、販売の促進(宿毛市)</p> <p>■No. 27 栗からはじまる西土佐地産外商プロジェクト(四万十市)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと雇用(3,089千円)で1名の雇用</li> <li>・取引企業者数64社(商談中含む)</li> <li>・新商品の開発中(アルコール飲料)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>搾汁施設の稼働率向上 ⇒直七以外の搾汁を実施</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの県外企業に加え、県内企業への積極的な営業活動の結果、6月末現在4tを受注</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>原材料の確保 ⇒集荷及び買い支えによる確保数量の増</p>
<p><b>森林資源の活用促進</b></p> <p>■No. 7 森の工場・間伐の推進(幡多地域全域)</p> <p>■No. 8 バイオマスを利用した木材の乾燥施設等の導入(四万十市)</p> <p>■No. 9 「四万十の家」と地域産ヒノキの販売の推進(四万十市)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年度までに22工場認定</li> <li>・平成24年度に4工場の申請ヒアリングを実施</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>木材価格の低下(特に檜材) ⇒作業効率の向上(作業道路整備、特殊機械の導入)</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西土佐森林組合の中核森林組合認定に向けた準備</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>協同組合方式では国の補助事業の導入が困難なため、森林組合、個々の事業者単独による新たな事業展開 ⇒他の補助事業の活用を検討中</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四万十市産材利用促進事業の継続実施(7/31現在受付件数8件)</li> <li>・ふるさと雇用によりモデルハウス管理者1名の雇用</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>四万十ヒノキのPR強化 ⇒四万十ヒノキブランド化協議会での検討及び各種イベント参加</p>



重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 10 町内の持続可能な山林資源を活用した製炭事業(大月町)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業振興総合補助金 18,261 千円が採択(製炭窯 4 基分)</li> <li>・県ふるさと雇用(5,178 千円)で1名の雇用</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>製炭事業者の所得向上 ⇒製炭技術の向上による炭の品質アップ 下級品の販路拡大(四国内で直販)</p>
<p><b>安定した漁業生産を目指す取組</b></p> <p>■No. 19 大月町種苗生産施設活用による県内産養殖種苗のシェア拡大(大月町)</p> <p>■No. 33 カツオ文化のまちづくり事業(黒潮町)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業振興総合補助金 13,199 千円で、マダイ、シマアジ等の海上育苗施設を整備中</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>カンパチの種苗技術確立 ⇒県の水産試験場と連携して技術確立を目指す</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新荷捌・鮮度維持システムの導入及び水揚奨励金の実施により水揚実績をアップ</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>カツオ文化のまち佐賀の周知 ⇒メディアを活用したPRや町内外イベントでのPR活動</p>
<p><b>地域産物を活用した6次産業の振興</b></p> <p>■No. 11 地域活性化のための魚加工・販売体制の強化・推進(宿毛市)</p> <p>■No. 12 宿毛湾を中心とする地域水産物の流通・加工体制の推進(宿毛市)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鮮魚加工商品(冷凍フィレ)の製造販売</li> <li>・高知県内外の病院、学校給食用等に営業を実施(現在の取引先 36 社)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>主力商品であるキビナゴバラ凍結の販売量の増 ⇒販促活動の強化による新たな販路の確保</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鮮魚加工商品(冷凍フィレ等)を系列チェーン店に出荷</li> <li>・春の鯛フェアで宿毛市をPR</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>従業員の確保 ⇒ハローワークで募集中</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 13 民間企業との連携による水産物の販路拡大(宿毛市・大月町)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鮮魚を使用した加工(惣菜)商品の製造出荷が順調</li> <li>・提携先店舗に加えて、新たなチェーン店にも取引開始</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>原魚の安定確保(安定価格にて)</p> <p>⇒すくも湾漁協がH24 整備予定の急速冷凍施設・冷凍庫の活用</p>
<p>■No. 20 直七の生産、加工、販売の促進(宿毛市)(再掲)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと雇用(3,089千円)で1名の雇用</li> <li>・新規取引先と商談中</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>搾汁施設の稼働率向上</p> <p>⇒直七以外の搾汁を実施</p>
<p>■No. 21 地域の素材を活用した「おいしいもの」づくり(宿毛市)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の食材を使用した新商品の開発</li> <li>・「ハレノヒプリン」がモンドセレクション銅賞受賞</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>販売促進</p> <p>⇒県内量販店での催事参加</p>
<p>■No. 23 地域資源を統括したプログラム構築によるしみずの元気再生事業(土佐清水市)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県外催事での販促PR活動(東京都1回、大阪1回、県内2回)</li> <li>・新商品の開発</li> <li>・直営レストランの運営継続(H22.1月～)</li> <li>・無印良品(Found MUJI)との取引開始</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>売れ筋商品の販路拡大</p> <p>⇒競合する商品が多い中での販路拡大を行っていくための戦略づくり</p>
<p>■No. 25 地元農産物を使った商品開発事業(四万十市)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新商品の開発及び販促活動</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>販路の拡大</p> <p>⇒各種イベント等でのPR</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 27 栗からはじまる西土佐地産外商プロジェクト(四万十市)(再掲)</p> <p>■No. 32 黒潮印の商品開発(黒潮町)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの県外企業に加え、県内企業への積極的な営業活動の結果、6月末現在4tを受注</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>原材料の確保 ⇒集荷及び買い支えによる確保数量の増</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商品の企画、開発から販売までを支援する町単独補助事業の創設</li> <li>・黒潮印ブランド認証制度の制定</li> <li>・すなびてんば開設(6/21)(砂浜美術館のウェブサイトイベント情報やスポーツ施設、特産品情報等を発信するとともに販売も行うサイト)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>特産品開発推進協議会の売上増 ⇒新商品の開発によるアイテムの充実</p> <p>主力商品である黒糖やらっきょう漬の販路の拡大 ⇒黒潮印ブランド認証による商品の高付加価値化</p>
<p>地域再生への総合的な取組</p> <p>■No. 22 土佐清水市地域再生計画(大岐地区等の開発計画)(土佐清水市)</p> <p>■No. 28 西土佐拠点ビジネス推進事業(売り出せ西土佐プロジェクト)(四万十市)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原魚取扱量が前年同時期と比較して10%の増</li> <li>・食品の販路拡大(10店舗の増)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>食品の更なる販路拡大 ⇒新商品の開発及び販促活動</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急雇用2名(既存直販市) ⇒うち1名が商人塾(白井コース)受講予定(7/11~6回)</li> <li>・道の駅検討会及び整備幹事会の発足</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>基本計画の策定 ⇒9月策定に向けて議論開始</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 29 拠点ビジネスの推進「大月町まるごと販売事業」(大月町)</p> <p>■No. 34 佐賀地区の地域資源を活用した拠点ビジネスの推進(黒潮町)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレハブ冷凍庫、液体充填機械の導入(リース)</li> <li>・塩麴の商品化</li> <li>・無印良品(Found MUJI)との取引開始</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>外商の拡大 ⇒町内の他事業者と「大月まるごと販売プロジェクト」を立ち上げ連携して販売促進</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点施設となる道の駅建設予定地の用地買収完了(H24.5月末)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>運営体制、施設内容の決定 ⇒道の駅設立準備委員会で検討</p>
<p><b>滞在型・体験型観光の推進</b></p> <p>■No. 36 幡多広域における滞在型・体験型観光の推進(幡多地域全域)</p> <p>■No. 37 竜串観光再発見事業(土佐清水市)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育旅行の受入(小学校4校、中学校5校、高校2校 計1,329人)</li> <li>・NPOグローバルキャンパス理事長 大社充氏を組織強化アドバイザーとして受入(月2回ペースで来社)</li> <li>・荒天時受入が可能な幡多公設市場での体験プログラムの整備、受入開始(5/30:55人、6/7:17人)</li> <li>・緊急雇用1名(事務局員)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>受入客の増及び事務局体制の充実 ⇒観光人材育成塾への参加及び一般向け旅行商品の開発と販促活動の充実 現在不在となっている事務局員に十分なスキルを有する人材の確保</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO 竜串観光振興会による海のギャラリーの管理運営(継続した取組)</li> <li>・奇岩をテーマとした観光客誘致活動(ポスター・チラシの作製・配布、テレビ放送)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>地域の観光資源を活かした具体的な戦略展開 ⇒観光拠点等整備事業費補助金(観光商品磨きあげ事業)による竜串観光の継続したPR</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 38 土佐清水市まるごと戦略観光展開事業(土佐清水市)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・GWイベント「ジョン万海の元気まつり」の開催(入場者数:4,300人)</li> <li>・香港国際旅行展に「四国の秘境」として出展し、現地旅行者や一般来場者にPR(6/12~6/15)</li> <li>・元気プロジェクト直営レストランスペースの見直しの検討開始</li> <li>・「四万十・足摺エリア特産品販売応援団」の認証商品のPR、アイテム数の拡大に着手</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>地域の特性、資源を活かした体験型プログラムの造成 ⇒観光団体、事業者等の観光人材育成塾への参加</p>
<p>■No. 39 四万十市の地域資源を活かした通年・滞在型観光の推進(四万十市)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四万十花絵巻の開催(菜の花、桜、花菖蒲、紫陽花) 来訪者26,000人 宴参加者500人</li> <li>・モニターツアー受入27人(遊覧船14人、蛍3人、幡多フェス5人、レンタサイクル5人)</li> <li>・産振アドバイザーを招聘して、西土佐を舞台とした自転車イベントの企画及び情報発信を検討</li> <li>・緊急雇用:4事業16人</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>通年・滞在型観光に向けた観光商品の開発 ⇒観光団体、事業者等の観光人材育成塾への参加</p>
<p>■No41 黒潮町の地域資源を活かした体験型観光の推進(黒潮町)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・砂浜美術館Tシャツアート展開催(5/2~5/6 14,260人)</li> <li>・作品見つけの旅・春モニターツアーの実施(5/4~5/5 9人)</li> <li>・黒潮町体験受入等に関する意見交換会の開催(6/13,14 14団体)</li> <li>・高知短大での「黒潮町のアートを生かした地域振興」と題しての講演(4/10)</li> <li>・RKC調理師学校での「さしすせそ」出前授業実施(6/12)</li> <li>・スポーツ大会・合宿の誘致による宿泊客の増</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>体験プログラム指導内容のブラッシュアップ ⇒アドバイザーによる研修会の実施</p>

②上記以外で特記すべき取組 特になし

## 2 平成 24 年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況 (交付決定又は採択事業)

単位：千円

取組	事業概要	総事業費 (補助金額)
■No. 10 町内の持続可能な山林資源を活用した製炭事業 (大月町)	町内のウバメガシを使った備長炭製炭事業の産業化 (製炭窯 4 基の整備)	18,261 (12,174)
■No. 19 大月町種苗生産施設活用による県内産養殖種苗のシェア拡大 (大月町)	町の水産種苗センターを活用したマダイ、シマアジの種苗の生産拡大 (海上育苗施設の整備)	13,199 (8,799)
■No. 18 キビナゴ加工商品の生産体制強化(大月町)	地元水産物を使った加工商品「きびなごケンピ」の生産体制と販売促進活動の強化 (商品パッケージの磨き上げ、商談会への出展)	2,376 (1,187)
■No. 16 宗田節の販路拡大に向けた取組(土佐清水市)	宗田節の消費拡大を目指したPRや新商品を活用した販売促進 (テレビCMの放送、空港等での販売促進活動)	4,993 (833)
■No. 35 水産物加工施設整備事業 (黒潮町) ※ステップアップ事業	「魚醤」の販売促進 (商談会への出展、まるごと高知での市場調査)	2,072 (1,000)

## 3 地域アクションプランの削除 (予定) 項目

[削除] ■No. 24 土佐清水知的財産産業化事業 (土佐清水市)

(理由)

- ・H24. 3 月市議会で当初予算は承認・可決されたものの、当該事業の関連予算の執行停止を求める決議案が提出され、賛成多数により可決された。このため、事業実施の可能性を検討してきたが、実施は困難であるとの判断に至った。

## 4 県民参画に向けた取組

- ・中村商工会議所役員会 (5/15)、西土佐商工会総会 (5/18) での第 2 期計画、土佐の産業おこし参加プラン及び土佐MBAの説明並びに産業振興計画シンポジウムの開催 (6/9) のPR
- ・各市町村商工会 (商工会議所) へ個別に訪問し、上記の説明及びPR (4 月下旬～5 月下旬)
- ・地域アクションプランの事業者へ上記資料を個別に配布しPR
- ・対話と実行行脚の訪問先である土佐清水市及び三原村の事業者、地域団体等へ上記資料を配布・説明
- ・産業振興シンポジウムの開催地である四万十市のJA高知はた、観光協会及び事業者等へシンポジウムのチラシを配布しPR
- ・大月町の広報誌 4 月号で町内のアクションプランの取組の紹介、6 月号で第 2 期計画、土佐の産業おこし参加プラン、土佐MBAの紹介
- ・四万十市の広報誌 6 月号、土佐清水市の広報誌 6 月号及び黒潮町の広報誌 6 月号で土佐の産業おこし参加プランの紹介

- ・宿毛市の広報誌 6月号で土佐MBAの紹介
- ・幡多信用金庫と産業振興に関する包括協定を締結 (8/2)

5 相談案件：3件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/4	観光	養老馬の受入れ環境と、馬との触れ合う環境整備。
2	5/7	観光	四万十川沿いに季節の花を植栽した観光スポットづくり。
3	6/6	水産流通	「土佐の産業おこし参加プラン」の申請に関する相談。

削除項目(案)

【幡多地域】

項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
24 土佐清水知的財産産業化事業 《土佐清水市》	土佐清水市独自の自治体向けコンピューターソフトを他の自治体に販売するとともに、新たなソフト制作やメンテナンス等を行える人材を育成し、地域内所得の向上、雇用創出、ならびに各種産業振興への波及効果を目指す。	・(株)土佐清水元氣プロジェクト ・土佐清水市			◆開発団体設立  ◆システム開発販売、保守及び改修等  ◆代行業務の請負



削除



第2期計画					指標及び目標	
	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
開発団体設立 (株)土佐清水元気プロジェクトに知的産業関連部門を創設					雇用者(臨時・パートを含む)  システム開発	5人  20種類
システム開発販売、保守及び改修等 施設・設備等の整備	→					
自治体向けシステム開発・販売・保守・改修						
自治体への商品(パッケージ)開発・販売						
民間事業者等向けシステム開発・販売・保守・改修						
代行業務の請負						
各自治体等の入力・印刷事務の請負						



削除

